デジタルビデオレコーダ

PDR-XM4000 シリーズ

4･8･16 チャンネル機共通

設置・取扱説明書

VER XM4K-1.0(B01)_J1c
対応 APP Ver. R2891, R2966
R3036, R3288, R3431
R3758, R4195, R4566

- この度は、デジタルビデオレコーダをお求めいただきありがとうございます。
- 本機をご使用の前に、この設置・取扱説明書をお読みいただき、製品の機能や操作法について、十分ご理解いただいた上で、正しく使用していただきますよう、お願い致します。
- この取扱説明書は、後で確認できるよう、分かりやすい場所に保管してください。
- サードパーティー製のカメラ・モニタ・警報装置およびコンピュータ等を接続する場合、それらの説明書もお読みいただくようお願い致します。

目次

I　各部の名称とはたらき 8

1　前面パネル 8
2　背面パネルコネクタ 12
3　リモートコントローラ 14
4　マウス制御 15
5　マウス制御用バーチャルキーパッド 15

II　設置 & 接続 16

1　カメラ、モニタ、音声、アラームセンサー及び電源コード 16
2　電源の入／切と再起動 17
3　ネットワーク接続用 PC のシステム条件 18

III　クイックスタートページ 19

IV　ライブ監視 21

1　表示概要 21
1　録画モード 21
2　イベントインジケータ 21
3　ステータスバー 22
2　分割画面表示および画面自動切り替え 23
3　画面移動 24
4　ズーム 25

V　基本操作 26

1　ログイン・ログアウト 26
2　メニューの基本操作 26

VI　設定 28

1　画面 28
1　設定 28
2　画面自動切換設定 28
3　イベント 30
1　イベント編集 32
2　イベントによる画面自動切替え処理の流れ 33
2　カメラ 33
1　エリアカテゴリ 34
2　カメラカテゴリ 35
3　両カテゴリで区別のない設定 35

1 PTZ....35
2 カメラタイトル....36
3 録画....37
1 設定....39
2 モード(録画モード設定)....40
3 デイ....41
4 デイイベント....42
1 イベント編集....43
2 連続 + イベント(モーション／アラーム)録画....44
5 ナイト....45
6 ナイトイベント....46
4 予約録画....47
1 予約録画設定....47
2 休日設定....49
5 ディスク....51
1 ディスク管理....51
2 録画用ディスク....52
3 S.M.A.R.T 情報....53
6 ネットワーク....53
1 IP 設定....54
2 設定....55
3 E メール....56
1 イベント編集....57
4 SMTP....57
5 DDNS(ダイナミック DNS)....58
7 デバイス....59
1 設定....60
2 アラーム....61
1 イベント編集....62
3 PTZ イベント....63
8 システム....64
1 設定....64
2 日時設定....64
3 ユーザー設定....66
4 アップデート....67
5 システム情報....70
1 サマリー(概要)....70
2 ディスク....71
3 ネットワーク....71

VII　パン チルト ズーム制御 73

1　PTZ メニュー 73

1　マウスで PTZ を制御するには 74

2　プリセット & ツアー 75

1　ツアーグループ 76

3　カスタム機能 77

VIII　再生 検索 78

1　再生 78

2　時間検索 78

3　イベント選択 80

4　時間入力 81

5　ログリスト検索 81

1　ログ情報の詳細 82

IX　バックアップ 83

1　手動バックアップ 83

1　バックアップ期間の簡単な指定方法 84

2　手動バックアップデータの再生 86

2　自動バックアップ(FTP) 86

3　ログリストのバックアップ 89

X　仕様 90

XI　付録 91

1　故障かな？と思ったら 91

免責事項

- この設置・取扱説明書に記載された情報は、発行時点のものです。仕様及び性能は予告なく変更される場合があります。また、これらの変更のために、より新しい設置・取扱説明書が発行される場合があります。
- デジタルビデオレコーダ、ソフトウエア、ハードディスク、パソコン周辺機器等の操作ミスや故障及びサポート対象外の機器を接続したこと等による故障・損傷またはデータ消失によって、結果的に生じる損害は保障できません。
- 弊社は、本機を日本国内での使用を前提として輸入・販売しております。本機を海外でご使用になった場合の、故障や事故に関し、弊社は一切の責任を負わないものとします。

警告

- 本機の通気孔を塞がないでください。器具の過熱防止のため、通気孔の周囲は最低５ｃｍ空けてください。
- 本機の中に金属部品を入れないでください。本機に回復不能な損害を与える恐れがあります。もし入れてしまった場合は直ちに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。そしてお買い求めの販売店にご連絡ください。
- 本機及び AC アダプターの分解・改造をしないでください。感電や火災の原因となり、大変危険です。修理や部品交換が必要な場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 煙・蒸気または異臭を感じた場合は、火災や感電を防止するため、直ちに機器の使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、煙や蒸気が止まったことを必ず確認し、販売店にご相談ください。
- 本機やその付属品に重い物を落すなどしてケースやコードが変形・破損した場合は、直ちに使用を中止し、衝撃や振動を与えないようにしてください。次に、火災や感電を防止するため、直ちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。
- 本機や AC アダプターに水などの液体を入れないでください。DVR や AC アダプターは防水ではありません。液体がかかった場合や潮風で汚れた場合は、乾いた柔らかい吸水性の良い布で拭いてください。水または異物が入った場合には、直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使い続けると火災や感電の恐れがあり、危険ですので販売店にご相談ください。
- 火災の恐れがありますので、本機や AC アダプターのお手入れにアルコール・ベンゼン・シンナーなどの燃えやすい物質を使用しないでください。日常のお手入れは乾いた布で拭くようにしてください。また、埃・湿気・油の多い環境での使用は火災やショートの恐れがあるので避けてください。
- 電源コードに重い物を乗せたり切断したり傷つけたり改造したりしないでください。これらは火災・ショート・感電の原因になることがあり、大変危険です。
- 感電の恐れがありますので濡れた手で本機や本機の電源コードに触れないでください。電源プラグをコンセントから抜くときは、プラグを持って抜いてください。火災・感電・故障などの恐れがありますので、コードを持って引き抜かないでください。
- 電源は、付属の AC アダプターをご使用ください。本機に他の電源を使用した場合、火災・感電・過熱・装置の変形等の恐れがあります。また、本機に付属しております電源コードは日本国内専用

です。プラグの形状や電圧の異なる海外ではご使用いただけません。

- 液漏れ・火災・感電・破裂等により重症を負う恐れがありますので、電池を熱源の近くに置いたり、炎や熱に直接さらしたり、水中に沈めたりしないでください。
- 破裂の恐れがあり大変危険なので、電池の加熱や分解をしようとしないでください。電池の液が体（目や口に入った場合も）や衣類に付着した場合、すぐに流水で洗い流してください。また、液が目や口に入った場合は速やかに医師に相談してください。
- 電池に強い衝撃を与えることや落下させることは避けてください。液漏れや怪我の原因になることがあります。
- キーホルダーのような金属物で電池端子をショートさせないでください。過熱や火傷、その他の傷害の原因になることがあります。
- 付属の AC アダプターと、電源コードは、この DVR 専用に設計されています。火災などの恐れがありますので、他の製品や電池の充電等に使用しないでください。

注意

- 指定された温度・湿度または電源定格を超える状態で装置を運用しないでください。
  温度：0～40℃　湿度：90%以下(結露しないこと)
  AC アダプターの定格電圧：AC100～240V 50/60Hz (付属の電源コードは 100V 用です)

  ＜　重　要　＞

  本機に付属しております電源コードの最大定格は **AC 125V** です。
  本機を電源電圧の高い海外でご使用になる場合は、変換プラグではなく、**必ず現地の電圧に適合した高電圧用の電源コード**をお買い求めください。電源電圧の高い国や地域で付属の電源コードをご使用になりますと、火災や感電の恐れがあり、大変危険です。
- コンセントは装置の近くに設置し、容易に抜き差しできる状態にしてください。

故障を防ぐために

- 強い磁界を避けてください。電気モーターやブラウン管テレビの上など強い電磁界を発生する装置の近くに本機を置かないでください。強い磁界にさらされると、装置の故障や画像データが壊れることがあります。
- 結露を避けてください。急激な温度差のある環境に装置を移動すると装置の内部または外部に結露を生じることがあります。これを避けるには、予め装置をジッパー付のビニール袋に入れて密封しておき、その状態で移動した後、移動先の温度に馴染ませてから袋を外してください。
- デジタルビデオレコーダ内部に結露を生じた場合は、直ちに装置の使用を止めてください。使用を続けると、故障の原因になることがあります。コンセントから電源プラグを抜き、装置が完全に乾燥するのを待ってください。
- リモコンの電池を交換される場合は、**CR-2025** リチウムボタン電池をご購入ください。

凡例

凡例	説明
「画面」設定	設定名称は「カギカッコ」を付けて記述します。
設定 タブ	メニュー内のタブの名称は 囲み線 を付けて記述します。
開始 ボタン	ボタンの名称は 囲み線 を付けて記述します。
参照→60 ページ	この設置取扱説明書に記述された関連項目の参照先を示します。
0 ～ **10** ～ 20	設定メニューの **強調** されている部分は初期設定値を意味します。
＜情報＞	知っておくと便利な機能や操作方法について説明します。
＜注意＞	操作や設定をする際に注意していただきたい事を説明します。

梱包品の確認

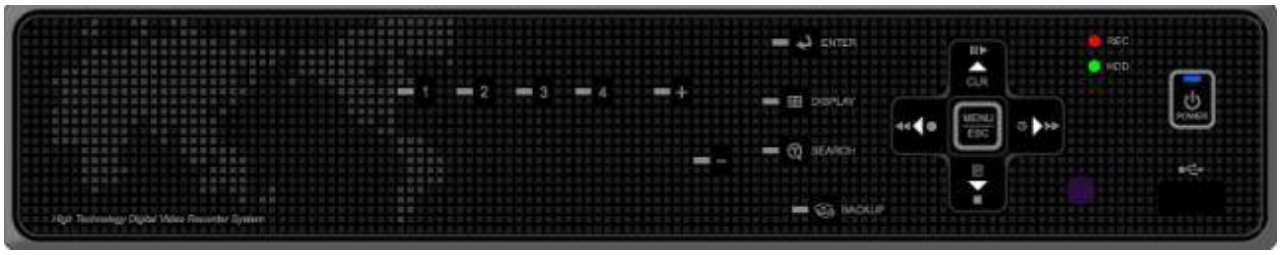
パッケージと中身に破損がないか確認してください。部品が足りない場合や破損している場合は、すぐにお買い求めの販売店にご連絡ください。なお、梱包材は本機を再び輸送するとき（引越しや修理）のために、大切に保管してください。

品名	数量	備考
デジタルビデオレコーダ	1	本体
クライアントソフトウエア CD	1	
リモートコントローラ	1	
電池 (CR-2025 リチウムボタン電池)	1	
AC アダプター	1	
電源コード	1	
設置・取扱説明書	1	本書
A/V 入力オクトパスケーブル	1	16CH 機のみ

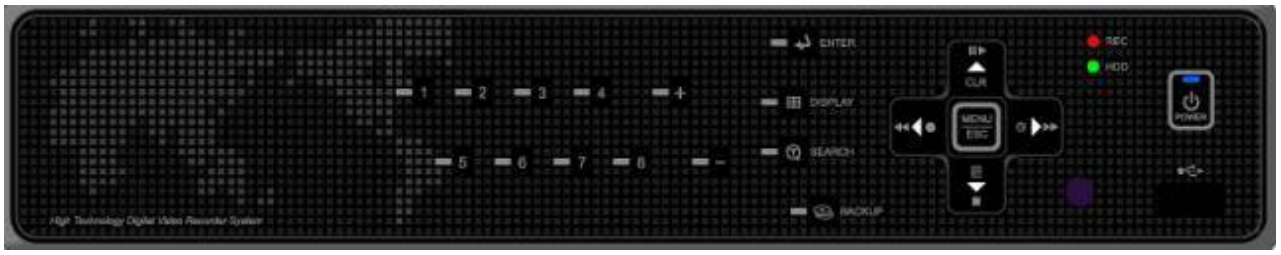
Ⅰ　各部の名称とはたらき

1　　前面パネル

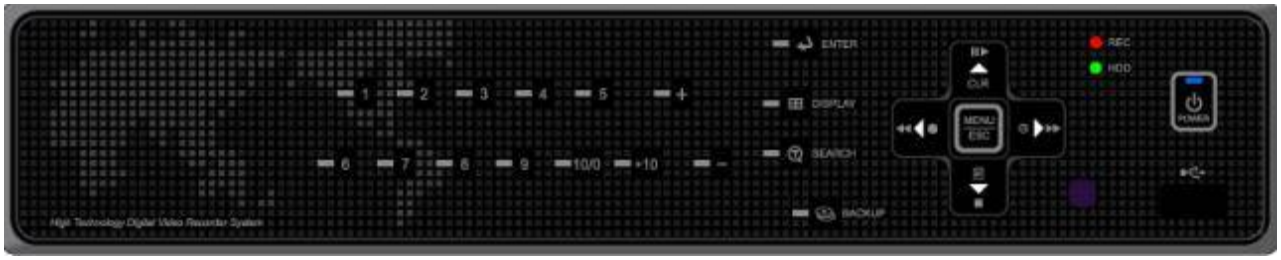
＜4 チャンネル機＞



＜8 チャンネル機＞

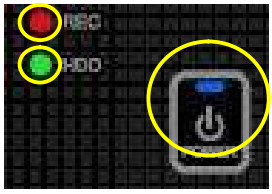


＜16 チャンネル機＞



1.　モード・インジケータ

3 個の LED が本機の状態を表示します。



＜情報＞ 電源ランプの状態
点滅：起動途中及び電源を切ることが出来る状態を示します。
点灯：通常の動作中を示します。

青：電源　　赤：録画　　緑：HDD アクセス

2. 再生 / 録画制御

これらのボタンの機能は、ライブモード・再生モードで使用します。

1) ▲▼◀▶(上下左右方向)

メニュー設定モード時にはカーソル移動に使用します。

2) 目/■ ログ ／ 再生停止

① ログ

ライブ監視中にこのボタンを押すと、ログリストを表示します。

② 再生停止

再生中にこのボタンを押すと、再生を停止し、ライブ監視状態に戻ります。

3) ◀◀/● 逆コマ送り ／ 早戻し ／ 録画

① 逆コマ送り

再生一時停止中にこのボタンを押すと、逆コマ送りします。

② 早戻し

再生中にこのボタンを押すと、早戻し再生します。

③ 録画

ライブ監視中にこのボタンを押すと、録画を開始及び停止できます。

＜注意＞
録画を停止するには適切な権限を持つユーザーによるパスワードの入力が必要です。

4) CLR/II▶ クリア ／ 再生 ／ 一時停止

① クリア

ライブ監視中にこのボタンを押すと、以下のいずれかの動作になります。

- 日時やアイコンのようなオンスクリーン表示情報の表示と非表示の切り替え。
- 画面の隅に表示される警告アイコンの解除 (消去)。
- アラームブザーの停止。

＜情報＞
アイコン表示とアラームブザーが同時に動作している場合、以下の順で機能します。
［アラームブザー停止］→［アイコン消去］→［オンスクリーン表示／非表示切換］

② 再生／一時停止

再生モード中にこのボタンを押すと、一時停止と再生を交互に切り替えます。

5) ◷/▶▶ログイン・ログアウト／コマ送りまたは早送り

① ログイン・ログアウト

ライブ監視中にこのボタンを押すと、ログインとログアウトを切り替えます。

② コマ送り

再生一時停止中にこのボタンを押すと、コマ送りします。

③ 早送り

再生中にこのボタンを押すと、早送り再生します。

3. MENU / ESC MENU / ESC ボタン

① MENU

メニューに入っていない時にこのボタンを押すと、メインメニュー画面を表示します。

② ESC

メニュー内でこのボタンを押すと、設定を保存せずにメニューを抜けます。

4. ENTER ENTER ボタン。

メニュー内でこのボタンを押すと、設定を保存してメニューを抜けます。

5. 10+ ボタン

ライブ監視中または再生中にこのボタンを押すと、10 を超えるチャンネル番号を指定します。

(例：16ch を指定する場合、10+ の後に 6 を押します)

6. DISPLAY 画面分割及びコピーボタン

① 画面分割

ライブまたは再生中にこのボタンを押すと、映像を分割画面表示に切り替えます。複数の分割方法が設定されている場合は、分割方法も順次切り替えます。

② コピー

メニュー内の録画設定等で、現在設定している行内のカーソル位置の値を他の行にコピーできます。

7. ボタン

ボタンは、データを入力または選択する場合に、値を増減させる方法で数値を入力したり、複数の選択肢の中から一つを選んだりすることが出来ます。

8. 数字ボタン

これらのボタンは、データの選択または入力する場合に数字を直接入力するために使用します。

9. リモコン受信部

リモコンからの信号を受信するための赤外線センサーです。この部分を塞がないでください。

10. POWER (電源) ボタン

このボタンを押すと、本機の電源を切ることが出来る状態にします。以下のような画面表示を確認後、コンセントから電源コードを抜くか、DVR から AC アダプターの DC プラグを抜いてください。

＜情報＞

- 電源を切ることが出来る状態にするには、パスワードの入力が必要です。
- 本機を、電源を切ることが出来る状態から再起動するには、一旦 DC プラグまたは電源プラグをコンセントから抜き、10 秒程度待ってから差し込んでください。

11. USB ポート

USB ストレージデバイスにビデオファイルをバックアップすることができます。
また、マウスを接続して使用することが出来ます。

12.

時間検索ボタン

このボタンを押すとカレンダーおよび時間検索メニューに入ります。

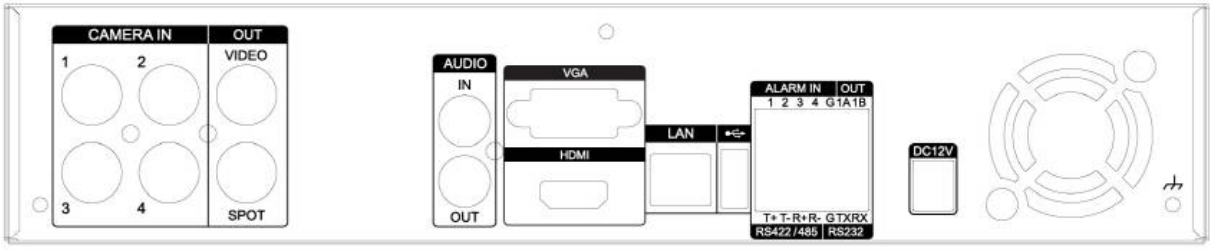
13.

バックアップボタン

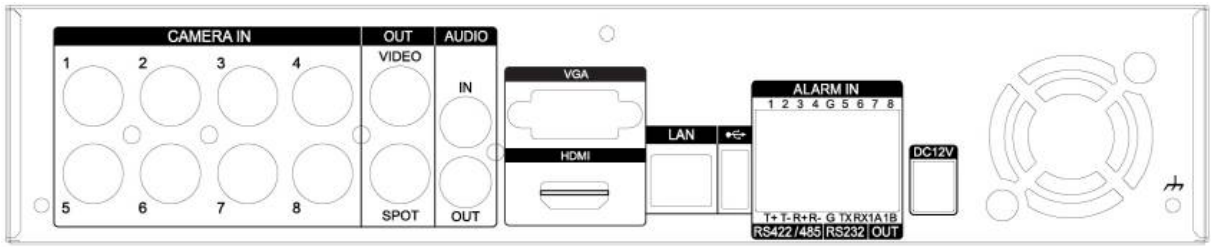
このボタンを押すと、バックアップメニューに入ります。このメニューでは、DVR からバックアップする範囲の時間とチャンネル等を指定しバックアップを実行することが出来ます。

２　　背面パネルコネクタ

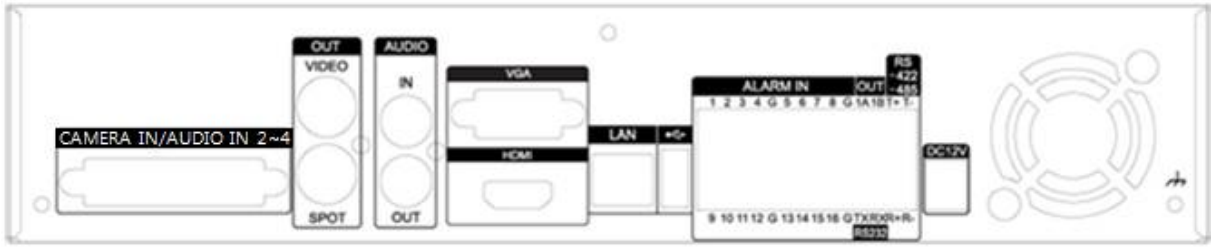
＜4 チャンネル機＞



＜8 チャンネル機＞



＜16 チャンネル機＞



1)　CAMERA IN (4, 8 チャンネル機)

カメラ入力 (BNC コネクタ) です。4 チャンネル機には 4 個、8 チャンネル機には 8 個あります。NTSC 方式のカメラを接続してください。

1)　CAMERA IN/AUDIO IN 2 ～ 4 (16 チャンネル機)

16 チャンネル機では、このコネクタに付属の AV オクトパスケーブルを接続し、映像入力 1～16 及び音声入力 2 ～ 4 をオクトパスケーブルに接続してください。(映像：BNC　音声：RCA)

NTSC 方式のカメラを接続してください。

2) OUT

NTSC 方式の映像出力です。

VIDEO (上) には、ライブ映像、再生映像及び本機の状態等を文字や記号で示すオンスクリーン表示を出力します。

SPOT (下) には、4, 8 チャンネル機では選択された 1 台のカメラのライブ映像を出力します。2 台目のモニタを接続してご使用ください。(16 チャンネル機では 16 台までの分割表示が可能です)

> ＜注意＞
> SPOT 出力には、本機の操作状態を示す表示や再生映像を表示することは出来ませんので、モニタが 1 台だけの場合、この端子だけに接続されますと、事実上本機を操作することはできません。SPOT 出力は 2 台目のモニタを接続するようにしてください。

3) AUDIO

1 チャンネルの音声入力と、1 チャンネルの音声出力です。

4) VGA

パソコン用のモニタ (アナログ) を接続できます。映像は VIDEO OUT と同じです。

5) HDMI (補助機能)

HDMI または DVI 方式に対応したモニタを接続できます。本機とモニタの相性によって HDMI 出力の映像が利用できない場合は、VGA または VIDEO で接続するようにしてください。

6) LAN

本機の遠隔監視、時刻同期等、ネットワークを利用する機能を使用する場合には、LAN ケーブルで TCP/IP ネットワークに接続してください。

> ＜注意＞
> ネットワークを利用する機能を使用するには、それらに合わせた設定作業が必要です。LAN ケーブルを接続するだけでは、これらの機能を使用することはできません。
> また、ルータやパソコン等、周辺機器の設定やソフトウエアのインストール等も必要です。

7) USB

USB ストレージデバイスまたは USB マウスを接続します。

8) ALARM IN

アラーム用センサー入力で、カメラ用のチャンネルと同じ数の入力があります。

9) OUT

アラームリレー出力 (無電圧接点出力)

10) RS-422 / 485

PTZ カメラ制御に利用します。

11) RS-232

工場での開発用です。お客様のご利用は出来ません。

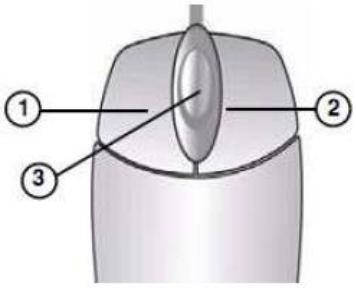
12) POWER

DC 電源ジャックです。付属の AC アダプターを接続します。

3　　リモートコントローラ

４　　マウス制御

本機は、マウスで制御することが出来ます。



1) 左ボタン

分割画面モードで特定のチャンネルをダブルクリックすると、1 画面表示します。再度ダブルクリックすると元に戻ります。メニュー内では、メニューオプションを選択します。

2) 右ボタン

ライブ監視中、再生中にメインメニューに入ります。もう一度クリックすると戻ります。

3) スクロールホイール

メニュー内の現在選択している項目の上にマウスポインタを置いて、スクロールホイールを上下に動かすと、値を増減させることが出来ます。

５　　マウス制御用バーチャルキーパッド

本機は、マウス制御のために、画面上にバーチャルキーボードを表示できます。

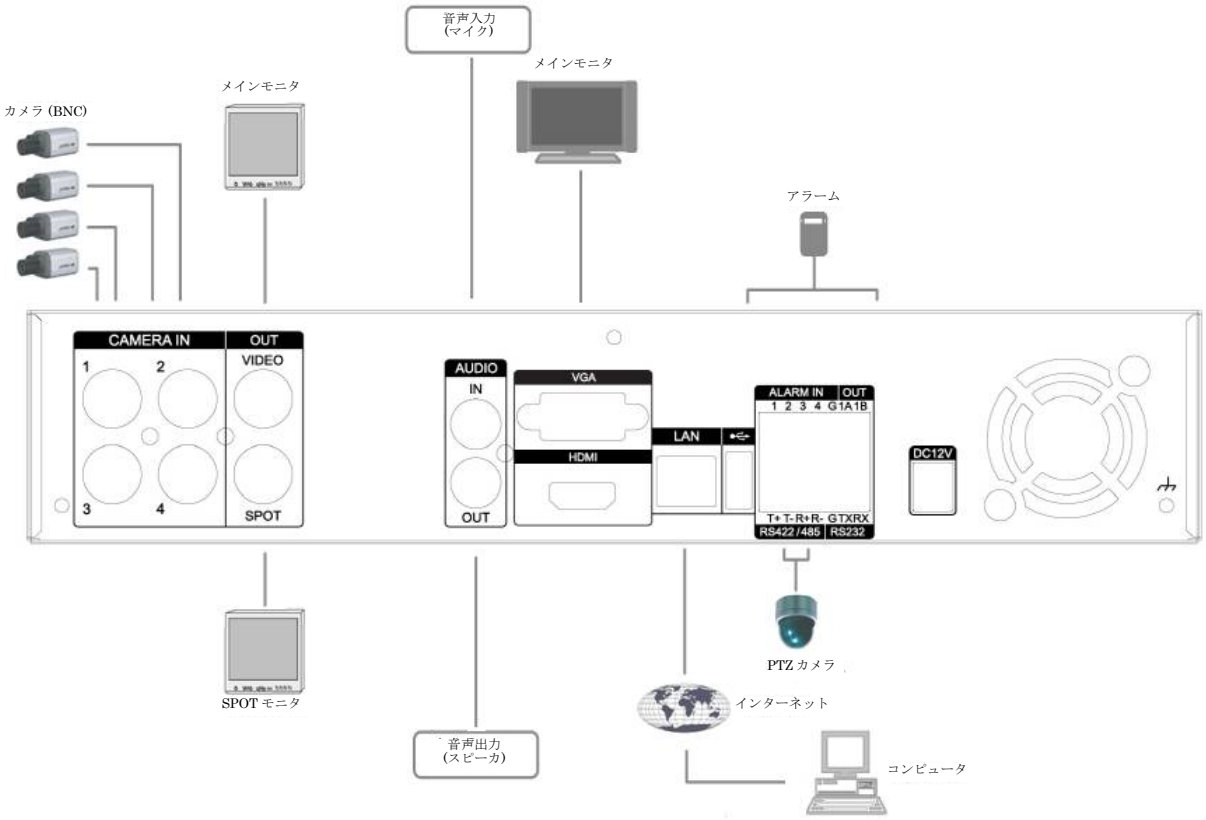
使用前に USB ポートにマウスを接続します。ライブモードまたは再生モードで、マウスの右ボタンをクリックすると、下図のバーチャルコントローラが表示されます。

パスワード

再生

II　設置 & 接続

1　　カメラ、モニタ、音声、アラームセンサー及び電源コード



２　　電源の入／切と再起動

本機は、付属の AC アダプターを接続し、電源コードをコンセントに接続するだけで、自動的に電源が入り、起動します。

電源を切る必要がある場合は、本体またはリモコンの ⏻POWER (電源)ボタンを押すか、メインメニューから「電源」を選択します。

上図右上のログインウインドウが現れたら、パスワードを入力すると、電源を切ることが出来る状態になります。上図の右下のようなメッセージが表示された場合は、録画を停止してから電源を切る操作を再度実行してください。

電源を切ることが出来る状態になると、以下のメッセージが表示されますので、AC アダプターの DC プラグを本機から抜くか、電源プラグをコンセントから抜いてください。

もう一度電源を接続すると、本機を起動することが出来ます。

＜注意＞

- 本機の電源ボタンは、本機の状態を安全に電源を切ることが出来るようにするためのものです、電源を 入／切 することは出来ません。
- 上記の「電源アダプターを DVR から外してください」表示が出ていない状態で電源プラグや DC プラグを抜かないでください。故障の原因になる場合があります。
- 誤って電源を切ることが出来る状態にしてしまった場合は、一旦電源プラグをコンセントから抜いて 10 秒程度待ってから差し込んでいただくことで、再起動できます。

3　　ネットワーク接続用 PC のシステム条件

	最低	推薦
OS	Windows XP SP3 以上	Windows 7
CPU	Core 2 Duo	i5
RAM	2G	4G
VGA	PCI-E 256M	PCI-E 512M
DirectX	DX 9.0 サポート	DX 9.0 サポート
ネットワーク	100M イーサネット LAN	100M イーサネット LAN
HDD	100G	500G

＜情報＞

DVR の接続と遠隔監視は、PC のインターネット接続設定やネットワーク機器の設定及びネットワーク環境にも依存します、接続がうまくいかない場合は、それらも確認してください。

企業等の組織内では、ネットワーク管理者の指示に従って設定してください。

また、本機とネットワーク機器等、他社製品との間で生じる相性問題について、弊社では責任を負いません。

III クイックスタートページ

管理者の初期パスワードは「000000」です。

EMS ソフトに初期設定された起動用のユーザーID は「admin」、パスワードは「0」です。

＜注意＞ EMS ソフトウエアは、APP バージョン 1.8.8.19 以降のものを使用してください。

メインメニュー

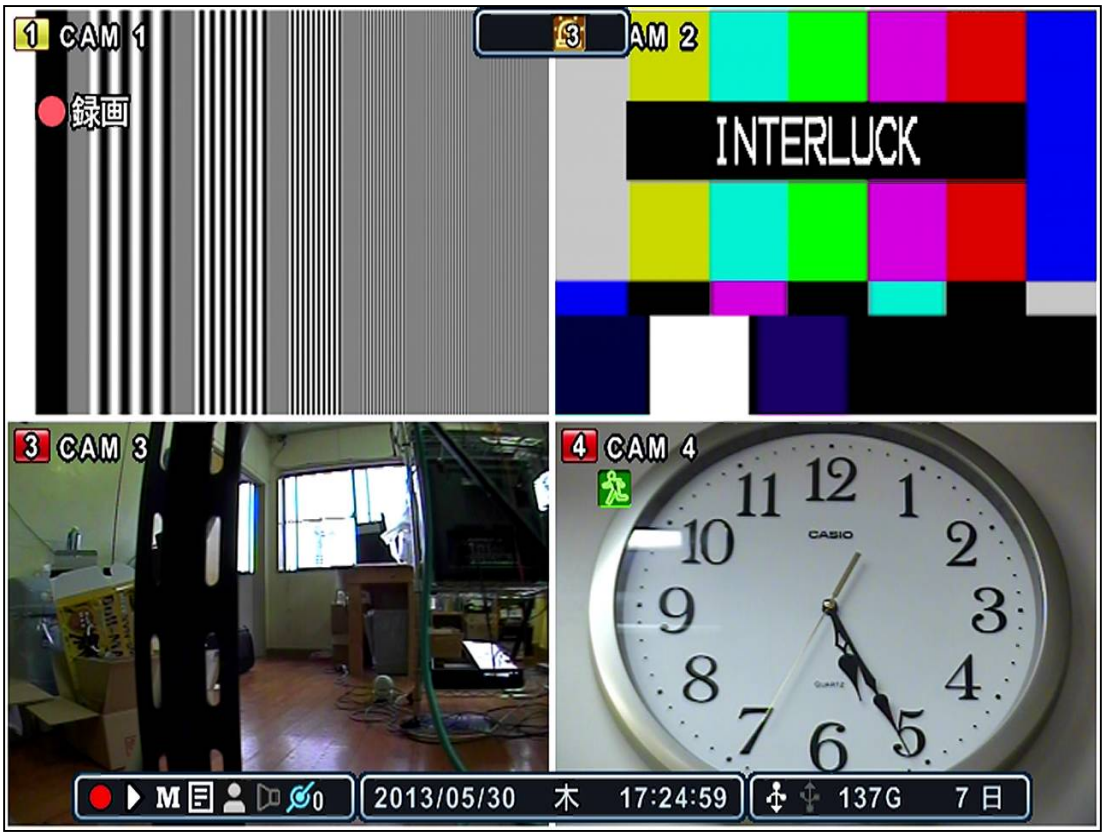
メインメニューのそれぞれのアイコンは、DVR の設定または操作用のショートカットとして動作します。
希望のメニューを選択するには、リモコンまたはフロントボタン、あるいはマウスを使います。

日付と時刻の設定

購入後、はじめて DVR の電源を入れたとき、本機の他の操作をする前に、日付と時刻を設定することが重要です。DVR の日付と時刻を設定については、参照→64 ページ

IV ライブ監視

1 表示概要



1 録画モード

番号の背景色は、以下の録画状態を示します。

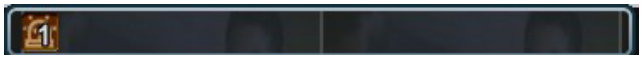
番号の色		状態
1	黒	録画していない
2	黄	連続録画中
3	緑	イベント(モーション/アラーム) 録画中

2 イベントインジケータ

(1) (2) (3)

画面に表示されるアイコンは、それぞれ以下のような状態を示します。

(1) アラーム入力端子がアラームセンサーによってトリガされたことを示します。



▲ ボタンで「アラーム」ウインドウの表示と非表示を切り換えることができます。

(2) モーション検出表示。☒ CANCEL/ESC ボタンを押すと消えます。

(3) ビデオロス表示。☒ CANCEL/ESC ボタンを押すと消えます。

3　　ステータスバー

(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7)

(1)　録画状態表示及びマウスによる録画の開始と停止

(2)　再生状態表示

(3)　メニュー及び取り消し

(この部分をマウスで左クリックすることで、本体の MENU/ESC ボタンと同様に動作)

(4)　マウスのクリックでログを表示します。

(5)　ログイン状態を示します。(: 管理者の状態 : ユーザーの状態)

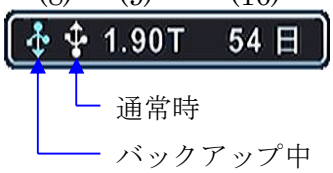
(6)　音声データが保存されていることを表示します。

(7)　ネットワークを通して DVR に接続しているクライアント数を表示します。

日時を表示します。日付表示形式は、「システム」→「時刻」メニューから変更できます。

参照→64 ページ

(8)　(9)　(10)



(8)　USB デバイスが接続されていることを示します。(バックアップ中は青になります)

(9)　HDD の残り容量を示します。

(10)　現在の録画状態での残り録画日数を示します。

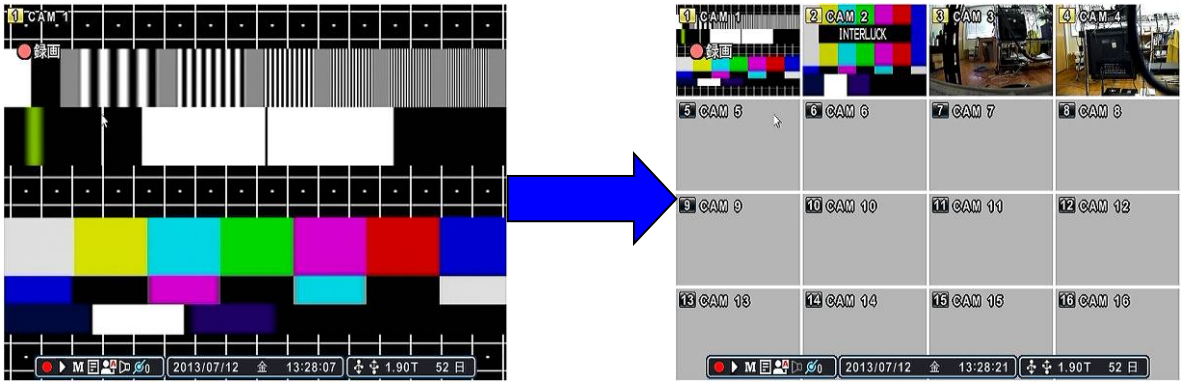
2　　分割画面表示および画面自動切り替え

全画面表示

希望するカメラの番号を押すことで、全画面表示にするカメラを選択できます。

分割画面表示及び画面自動切換表示

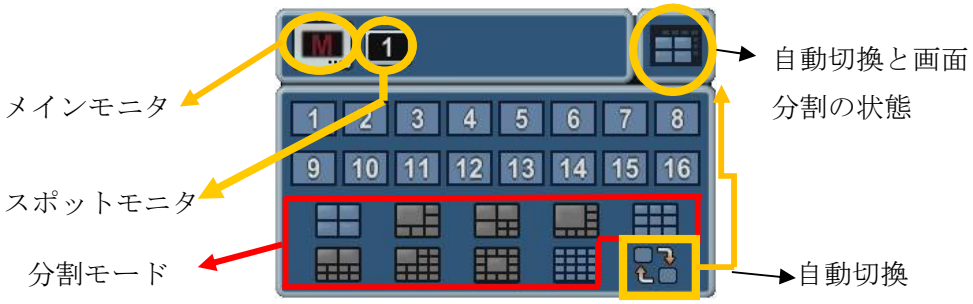
1) 分割画面表示にするには、⊞DISPLAY (画面分割) ボタンを押します。



2) 全画面の自動切換を始めるには、⊞DISPLAY (画面分割) ボタンを 2 秒間長押しすることで、自動切換を開始します。

メインメニューで「画面」を選択するか、リモコンで ▮▶ ⊡STEP_F/SPOT ボタンを押すか、マウスで下のアイコンをクリックします。

下図のバーチャルコントローラが表示されます。

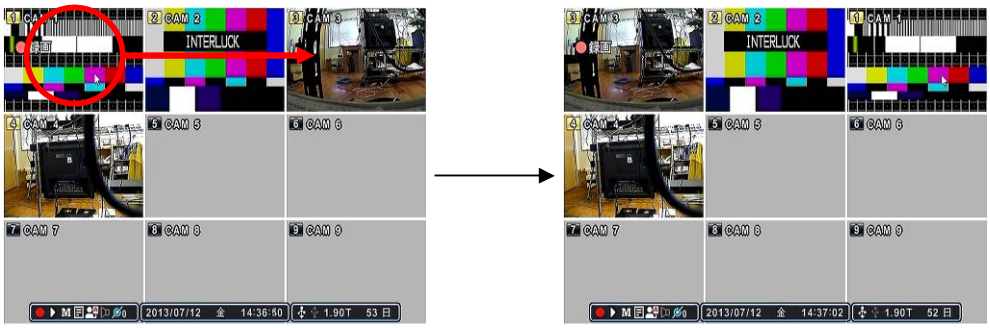


3) 自動切り替えモードおよび画面切り替え時間は、「設定」メニューの「画面設定」で設定可能です。これらの設定に関する詳細については、「画面自動切替設定」を見てください。
参照→28 ページ

4) 分割モードは「画面」メニューの 設定 タブ内でプログラム可能です

3 画面移動

本機の分割画面表示は、4, 6, 7, 8, 9, 10, 13, 16 分割が利用可能で、各チャンネルの表示位置を入れ替えることができます。画面移動はマウスのドラッグ＆ドロップで操作します。

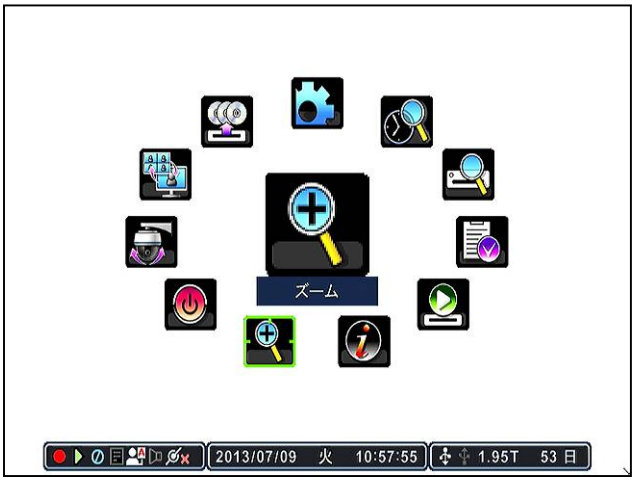


位置変更前　　位置変更後

4　ズーム

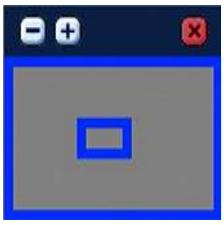
ライブモードおよび再生モード中、画面の一部を拡大することが出来ます。

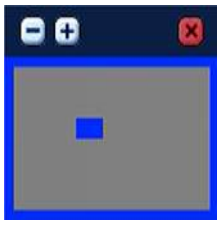
1) デジタルズームを有効にするには、拡大したいカメラを全画面表示の状態にします。
2) メインメニューで「ズーム」を選択するか、リモコンの [↵ ENTER/ZOOM] ボタンを押します。



下図のようなズームエリアボックスがポップアップ表示されます。

×2


×4


×8

3) [▲][▼][◀][▶] (方向) ボタンを使って適切な位置にボックスを移動します。
4) 画像の倍率を上げるには [＋] ボタンを押します。倍率を下げるには [－] ボタンを押します。
5) [☒ CANCEL/ESC] ボタンを押すと通常のモードに戻ります。

＜注意＞
分割画面表示のときに [ZOOM] ボタンを押すと、前回全画面表示したチャンネルを拡大表示します。

V　基本操作

1　　ログイン・ログアウト

DVR を操作するには、適切なユーザーとパスワードで DVR にログインしなければなりません。この DVR は、工場出荷時には、1 つの管理者ユーザーのアカウントが予め設定されています。
(ユーザー名：“admin” パスワード：“000000”)

＜注意＞
- 本機を設置したら、管理者パスワードはお客様自身の新しいパスワードを設定してください。
- 初期設定されたパスワードのままで使用を継続しても、本機にはそれを警告する機能がありません。

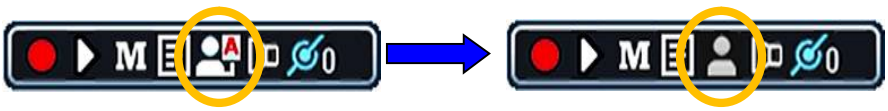
1　ログイン

1) 前面パネルのログインボタンを押すかマウスで下図の人の形をしたアイコンをクリックします。

2) ログイン画面が現れたら、[+][−] ボタンでユーザーを選択し、パスワードを入力します。
3) ログインアイコン または がステータスバーに表示されます。

2　ログアウト

1) 前面パネルのログインボタンを押すかマウスで下図の人の形をしたアイコンをクリックすると、最初の状態に戻り、ログアウト状態になります。



2　　メニューの基本操作

1　管理者または設定レベルのユーザーとして DVR にログオンします。

＜注意＞
管理者以外の権限では、「設定」メニューの「ディスク」及び「システム」メニューへのアクセスが制限されます。

2　前面パネルの [MENU/ESC] ボタンまたはリモコンで [MENU] ボタンを押すか、マウスを右クリックすると、メインメニューが現れます。

3　適切なメニューを選択するには ▲ ▼ ◀ ▶ (方向) ボタンを使うかマウスを使って、メニューをクリックします。メインメニュー内では選択された項目は、大きなサイズで中央に現れ、強調されます。

4　メニューを選択しサブメニューを表示するには ↵ ENTER/ZOOM ボタンを押すかマウスを使ってクリックします。

5　タブを選択するには ◀ ▶ (左右) ボタンを使います。選択された項目はオレンジ色に変化します。

＜情報＞ タブメニュー間を移動したときは、タブ内の変更が自動的に保存されます。

6　メニューは左側の欄に設定項目が、右側の欄に設定値が表示されます。カーソル (強調表示) は ▲ ▼ ◀ ▶ (方向) ボタンを使って移動することが出来ます。

7　値または選択肢を変更するには ＋ － ボタンを押します。マウスではホイールを回します。

8　変更を保存してメニューを抜けるには、↵ ENTER/ZOOM ボタンを押すか、保存 ボタンをクリックします。
変更を保存せずにメニューを抜けるには ☒ CANCEL/ESC ボタンを押すか、☒ をクリックします。

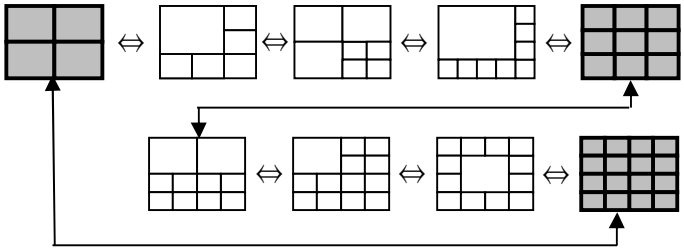
VI 設定

この章では、設定メニューの詳細について記述します。表内の設定値の**強調**表示は、工場出荷時の初期値を意味します。

1　画面

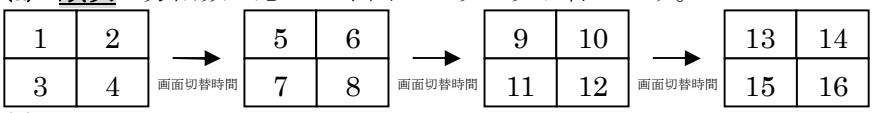
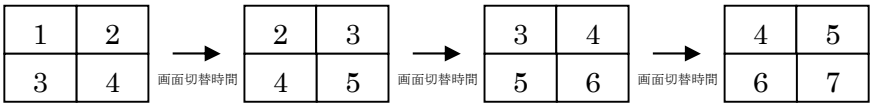
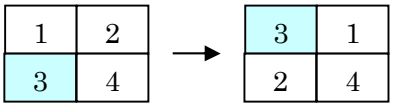
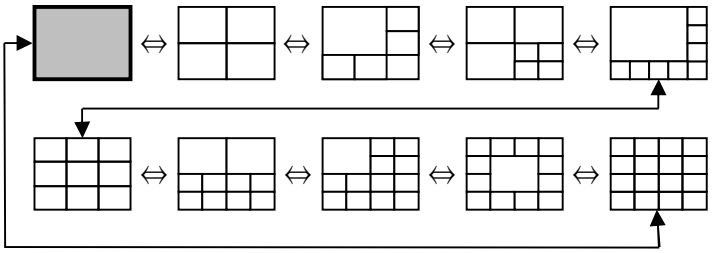
「画面」設定では、画面表示に関する設定ができます。

1　設定

項目	調整
ステータスバー	メインモニタ画面下のステータスバーの「**表示**」⇔「非表示」を切換えます。
カメラ情報	カメラ番号と名称、それぞれのオンスクリーン表示の「**表示**」⇔「非表示」を切換えます。
画面分割線	分割画面表示のとき、チャンネル間を分割する線の色を選択します。 [グレイ ⇔ **白** ⇔ 青 ⇔ 黒 ⇔ ダークグレイ]
背景色	映像信号がない状態のチャンネルに表示する背景色を選択します。 [**グレイ** ⇔ 白 ⇔ 青 ⇔ 黒 ⇔ ダークグレイ]
OSD 表示位置	OSD 表示可能なメイン映像出力は VGA とアナログモニタ及び HDMI モニタに表示できます。映像は、これら全てのモニタに同時に表示できます。この設定では、モニタ上のオンスクリーン表示座標を選択します。 **アンダースキャン**：PC 用モニタに適した表示位置になります オーバースキャン：ビデオ用モニタやテレビに適した表示位置になります。
画面分割設定	利用可能な画面の分割方法を指定します。 

2　画面自動切換設定

「画面自動切替設定」では、メインモニタとスポットモニタの画面自動切り替えを個別に設定することができます。

項目	説明
デバイス	設定を変更するモニタ出力を選択します。 メイン⇔スポット 1
画面切替時間	各カメラまたは分割画面をローテーションで自動切替え表示する場合に、ひとつの画面を表示し続ける時間を選択します。変更するには [+] [−] ボタンを使います。 1 秒～30 秒[初期設定：**5 秒**]
モード	分割画面表示のときの、画面自動切替えの表示方法を以下のように切り替えます。 **(a) 順次**：分割数に応じて下図のように切り替えます。  (b) シフト：下図のようにチャンネル番号順で表示位置をスライドさせます。  (c) イベント:イベントの起きたチャンネルを左上に表示し、他をスライドさせます。 以下の例は、4 分割表示でチャンネル「3」でイベントが発生した場合。  前　イベント　後 **＜注意＞** 4, 8 チャンネル機では、スポットモニタに対して、「シフト」を設定することはできません。
画面分割設定	画面自動切り替えのときに使用する画面の分割方法を以下の 8 種類から決定します。  **＜注意＞** 4, 8 チャンネル機では、スポットモニタで分割表示は出来ません。
使用チャンネル	画面自動切り替えに含めるチャンネルを指定します。

3　　イベント

イベント タブは、画面自動切替設定 タブの「モード」の項目を「イベント」に設定した場合にだけ利用可能になります。

ここでは、自動切替えで表示させたいチャンネルに割り当てるイベントを指定します。

項目	説明
CH	イベントが発生したときに表示させるチャンネル番号。(値の変更はできません)
アラーム	それぞれのチャンネルを表示させるために使うアラーム入力を選択します。 **OFF** ⇔ 1 ⇔ 2 ⇔ 3 ⇔ 4 ⇔ 5 ⇔ 6 ⇔ 7 ⇔ 8 ⇔ 9 ⇔ 10 ⇔ 11 ⇔ 12 ⇔ 13 ⇔ 14 ⇔ 15 ⇔ 16 ⇔ 全て
モーション	それぞれのチャンネルを表示させるために使うモーション検出チャンネルを選択します。 **OFF** ⇔ 1 ⇔ 2 ⇔ 3 ⇔ 4 ⇔ 5 ⇔ 6 ⇔ 7 ⇔ 8 ⇔ 9 ⇔ 10 ⇔ 11 ⇔ 12 ⇔ 13 ⇔ 14 ⇔ 15 ⇔ 16 ⇔ 全て
ビデオロス	それぞれのチャンネルを表示させるために使うビデオロス検出チャンネルを選択します。 **OFF** ⇔ 1 ⇔ 2 ⇔ 3 ⇔ 4 ⇔ 5 ⇔ 6 ⇔ 7 ⇔ 8 ⇔ 9 ⇔ 10 ⇔ 11 ⇔ 12 ⇔ 13 ⇔ 14 ⇔ 15 ⇔ 16 ⇔ 全て
システム	未使用
※	より詳細な設定のために「イベント編集」ウインドウを開きます。 イベント編集の使用方法については、参照→32 ページ

例 1

チャンネル 3 でモーションを検出したときに、チャンネル 3 の映像を表示する例

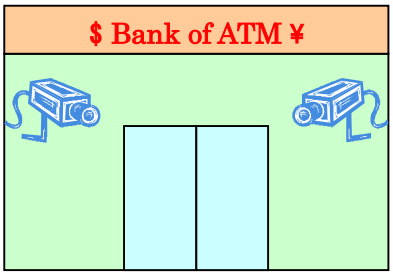
これは、最も一般的な設定例の一つです。

例 2

チャンネル 1 でビデオロスが発生した場合にチャンネル 2 を表示し、チャンネル 2 でビデオロスが発生した場合にチャンネル 1 を表示する例

チャンネル 2 のビデオロスで、チャンネル 1 を表示

チャンネル 1 のビデオロスで、チャンネル 2 を表示



このような設定は、左図のように 2 台のカメラを向かい合わせにして、カメラへの悪戯を監視したい場合等に利用できます。

1　　イベント編集

「イベント編集」ウインドウでは、イベントによる画面自動切り替えのための、より詳細な設定をすることができます。

例

チャンネル 1 またはチャンネル 2 のアラーム入力がトリガされたときにチャンネル 1 を表示します。

アラーム入力 1 と 2 を利用してチャンネル 1 を表示

この状態で、元の イベント タブに戻ると、チャンネル 1 のアラーム欄は「※」になっていることが確認できます。

＜注意＞「画面」メニューのイベント編集では、システムイベントを取扱うことはできません。

2　　イベントによる画面自動切替え処理の流れ

2　　カメラ

「カメラ」メニューでは、モーション検出、映像調整 (輝度・コントラスト・色相・彩度)、プライバシーマスク及び PTZ 部分のようなカメラに関する設定をします。
「カメラ」メニューには「エリア」カテゴリと「カメラ」カテゴリがあり、それぞれのカテゴリを選択してからその中の項目を設定します。

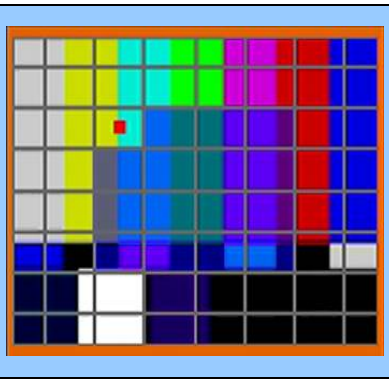
1　　エリアカテゴリ

エリアカテゴリでは下表の項目を設定できます。

項目	説明
感度設定	＋ ー ボタンを押して、それぞれのカメラのモーション検出感度を設定します。感度は値が大きくなるほど敏感になります。 0 ～ 20 [初期設定 **10**]
エリア設定	画面上のモーション検出するエリアを指定します。 選択されている検出エリアは、右側のビューウインドウ内に青く表示されます。 (全て選択) ボタンにカーソルを合わせて ＋ ー ボタンを押すと、全てのエリアを選択できます。 **(全てクリア)** ボタンにカーソルを合わせて ＋ ー ボタンを押すと、全てのエリアを解除できます。 (詳細設定) ボタンにカーソルを合わせて ＋ ボタンを押すと、8×8 の検出エリアを個別に設定することができます。(詳細は下段参照)
プライバシー保護	各カメラの撮影映像の中から、監視及び録画したくない部分を長方形のエリアで指定する機能です。指定されたエリアは黒になります。 **(全てクリア)** ボタンにカーソルを合わせて ＋ ー ボタンを押すと、全てのエリアを解除できます。 (詳細設定) ボタンにカーソルを合わせて ＋ ボタンを押すとビューウインドウ内に赤い点が表れます。この点を ▲ ▼ ◀ ▶ (方向) ボタンで移動して、開始位置と終了位置を決めて ＋ ボタンを押すことで、対角線で指定された長方形の範囲がマスクされます。

＜情報＞ モーション検出の検出エリアを個別に設定するには

1. (詳細設定) ボタンにカーソルを合わせて、＋ または ー ボタンを押すと、右図のようにビューウインドウが茶色の枠で囲われます。この状態で ▲ ▼ ◀ ▶ (方向) ボタンを操作するとビューウインドウ内の赤い点を上下左右に動かすことができるようになります。
2. 赤い点を目的の位置に合わせてから、＋ ボタンを押すことで、その位置の選択と解除ができます。
3. ー ボタンまたは MENU ボタンで、カーソルは元のメニューに戻ります。



＜注意＞ PRIVACY MASK のエリアは 1 箇所のみ設定できます。

2　　カメラカテゴリ

「カメラ」カテゴリでは、録画映像の画質に関する設定ができます。

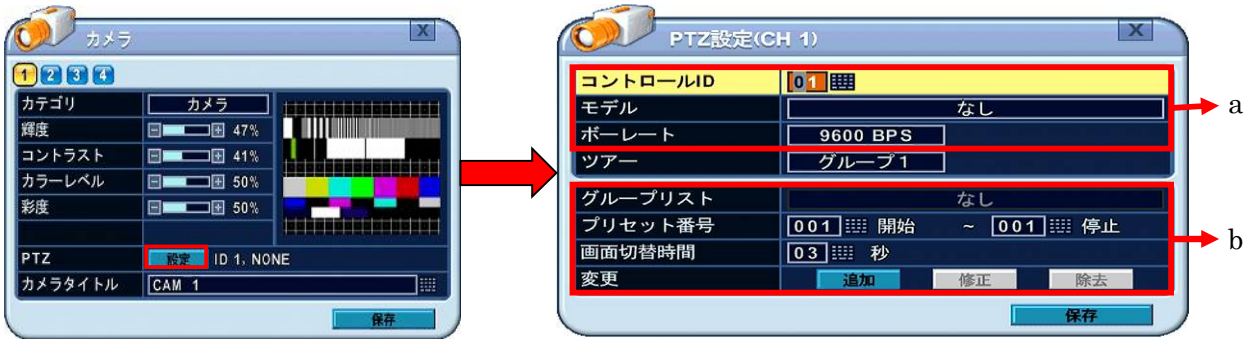
項目	説明
輝度	＋ － ボタンを押して、それぞれのカメラの輝度を調整します。 (BIAS 値) 0 ～ 100[初期設定 50]
コントラスト	＋ － ボタンを押して、それぞれのカメラのコントラストを調整できます。(GAIN 値) 0 ～ 100[初期設定 50]
カラーレベル	＋ － ボタンを押して、それぞれのカメラの色相を調整できます。 0 ～ 100[初期設定 50]
彩度	＋ － ボタンを押して、それぞれのカメラの色の濃さを調整できます。 0 ～ 100[初期設定 50]

3　　両カテゴリで区別のない設定

1　　PTZ

＜注意＞
この機能は、正しく設定しても正常に動作しない場合があります。これは、本機の製造元と、PTZ カメラの製造元が異なるため、コマンドの互換性を完全に保証することが困難なためです。従いまして、PTZ 制御機能をご利用いただく場合は、正しく動作しない場合があることを容認した上でご使用いただきますようお願い致します。

本機に PTZ カメラを接続する場合の、各カメラに対する本機の PTZ 設定が出来ます。
設定 ボタンをクリックすると、「PTZ 設定」ウインドウが開きます。



a.　通信設定
　適切な機種を設定し、カメラと一致するボーレートと PTZ ID (アドレス) を入力します。

b. ツアーグループ

2 カメラタイトル

それぞれのカメラに、設置場所などを示す固有の名称を付けることができます。

カメラタイトルは以下の条件で付けることができます。

使用可能な文字の種類	本体で設定	半角英数(大文字のみ)、半角記号(@ . － _)
	リモコンで設定	半角英数、半角記号(@ . － _)
	マウスで設定	半角英数、半角記号(@ . － _ ／ : ! # $ % ^ & ★ ( ) ＝, ＋ ?)
	EMS で設定	半角文字及び全角文字
使用可能な文字数	半角 12 文字、全角 6 文字	

入力方法は、リモコンまたは本体の場合数字ボタンを、マウスの場合バーチャルキーボードを使用します。リモコンから入力する場合の数字ボタンを押した回数と入力される文字の関係は、下表のようになります。

ボタン	1回	2回	3回	ボタン	1回	2回	3回
1	A	B	1	9	Q	R	9
2	C	D	2	10/0	S	T	10
3	E	F	3	11	U	V	11
4	G	H	4	12	W	X	
5	I	J	5	13	Y	Z	
6	K	L	6	14	.	@	
7	M	N	7	15	-	_	
8	O	P	8	16	SPACE		

本体から入力する場合の数字ボタンを押した回数と入力される文字の関係は、下表のようになります。

ボタン	1回	2回	3回	4回	ボタン	1回	2回	3回	4回
1	A	B	C	1	6	P	Q	R	6
2	D	E	F	2	7	S	T	U	7
3	G	H	I	3	8	V	W	X	8
4	J	K	L	4	9	Y	Z	@	9
5	M	N	O	5	10/0	.	-	_	0

マウスから入力する場合は下図のバーチャルキーボードを使用します。

3　　録画

本機は、工場出荷時に、連続(ノーマル)録画のために、ある程度基本的な設定が施されています。そのため DVR を設置して ●REC (録画) ボタンを押すだけで、すぐに録画が可能です。初期設定では、音声、イベント録画は OFF になっています。

録画設定では、これらの設定を操作して、お客様のニーズに合わせた、よりきめ細かな録画設定を可能にします。

本機では、解像度、画質(圧縮率)、フレーム数の 3 種類のパラメータを組み合わせることで、録画品質を決定しています。それぞれのチャンネル毎の 1 日当たりの HDD 使用量の目安は下表のようになります。実際の 1 日当たりの HDD 使用量の目安を求めるには、全てのチャンネルの HDD 使用量を足してください。また、HDD の全容量を 1 日当たりの HDD 使用量で割ることで、おおよその録画可能日数を計算することが出来ます。

解像度：CIF（360×240）　　[単位：GB/日]

フレーム数	最高画質	超高画質	高画質	中画質	低画質
1[F/s]	0.72	0.72	0.72	0.72	0.72
2[F/s]	1.2	1.2	1.2	1.2	1.1
3[F/s]	1.8	1.7	1.7	1.6	1.5
4[F/s]	2.3	2.2	2.2	2.0	1.9
5[F/s]	2.8	2.7	2.7	2.4	2.4
7[F/s]	3.9	3.7	3.7	3.3	3.2
10[F/s]	4.4	4.2	4.1	3.6	3.4
15[F/s]	5.3	4.9	4.6	4.2	3.7
30[F/s]	5.6	5.0	4.8	4.3	3.9

解像度：2CIF（720×240）　　[単位：GB/日]

フレーム数	最高画質	超高画質	高画質	中画質	低画質
1[F/s]	1.2	1.0	1.0	1.0	1.0
2[F/s]	1.9	1.8	1.7	1.7	1.6
3[F/s]	2.7	2.5	2.4	2.4	2.3
4[F/s]	3.5	3.3	3.2	3.0	2.9
5[F/s]	4.2	4.1	3.9	3.7	3.5
7[F/s]	5.8	5.6	5.3	5.0	4.8
10[F/s]	6.4	6.1	5.7	5.3	4.9
15[F/s]	7.3	6.9	6.3	5.8	5.2
30[F/s]	7.6	7.2	6.5	6.0	5.3

解像度：D1（720×480）　　[単位：GB/日]

フレーム数	最高画質	超高画質	高画質	中画質	低画質
1[F/s]	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4
2[F/s]	2.6	2.5	2.5	2.4	2.3
3[F/s]	3.7	3.5	3.6	3.4	3.2
4[F/s]	4.9	4.8	4.6	4.4	4.0
5[F/s]	6.0	5.9	5.7	5.7	4.9
7[F/s]	8.4	8.1	7.8	7.3	6.6
10[F/s]	9.1	8.7	8.2	7.6	6.8
15[F/s]	10.4	9.6	8.8	7.9	7.2
30[F/s]	11	9.8	8.9	8.1	7.3

例：4 チャンネル機で、2 台が解像度=2CIF　画質=超高画質　フレーム数=5、
　　残りの 2 台が解像度=2CIF　画質=超高画質　フレーム数=30 の場合

4.1＋4.1＋7.2＋7.2＝22.6[GB/日]

1TB（1000GB）の HDD を搭載している場合の録画可能日数の目安は

1000[GB]÷22.6[GB/日]≒44[日]

このように計算します。

＜情報＞

- 上記の計算を、誰でもより簡単にできるようにするためのソフトウエア “HDD Calculator” を付属の CD-ROM に収録しております。バージョン 3.2 以上であることをご確認いただき、インストール後 “model” の欄で “H.264 simple 4/8/16ch New” を選択してご利用ください。
- CD-ROM に収録されている HDD Calculator のバージョンが 3.2 より古い場合は、お手数ですがお買い求めの販売店にご連絡ください。

＜注意＞

上記の値は、あくまで概算値です。実際には、被写体の動きの程度や映像信号のノイズ量などの撮影条件によって、データ量は極めて大きく変化します。最低限録画したい日数が決まっている場合は、実際の映像で試し撮りする等して調整してください。

1　　設定

項目	説明
予約録画使用	ナイトゾーンの有効または無効を設定します。この設定を ON にした場合、デイゾーンとナイトゾーン及び録画休止ゾーンは、予約録画設定に従って自動的に切替えられます。 **OFF** ⇔ ON **<注意>** ● 本機は通常の録画と予約録画をこの設定で切替えます。従って従来機のような 予約録画 ボタンはありません。 ● 本機では、録画を開始しなければ、予約録画は働きません。
起動時録画	ON に設定すると、本機を起動後、●REC (録画) ボタンを押さなくても自動的に録画を開始します。 **OFF** ⇔ ON
上書き録画	「ON」の場合は HDD の空き容量がなくなった時に古い映像から順に削除して新しい映像を上書きします。OFF の場合は録画を停止します。 OFF ⇔ **ON**

自動削除期間	録画後、予め指定した期間が経過した映像を HDD の空き容量に関係なく、自動的に削除します。 なし ⇔ 12 時間 ⇔ 1 日 ⇔2 日 ⇔3 日 ⇔4 日 ⇔5 日 ⇔6 日 ⇔ 1 週間 ⇔ 2 週間 ⇔ 3 週間 ⇔ 4 週間 ⇔ 30 日
事前録画時間	イベント録画時に、イベントが発生する前の映像を録画する期間を指定します。 5 ～ 300 秒 [初期設定 5 秒] **＜注意＞** 事前録画は、録画 ボタンを押す前の時間に遡って記録することはできません。
事後録画時間	イベント録画時に、イベントが発生した後の映像を録画する期間を指定します。 5 ～ 300 秒 [初期設定 10 秒] **＜情報＞** 1. イベント録画中に次のイベントが発生した場合、録画は自動的に延長されます。 2. 録画中の場合、事前録画及び事後録画は働きません。

2　　モード (録画モード設定)

本機は、複数のカメラで撮影した映像を多重化して HDD に録画しています。各チャンネルの「F/S」に解像度に依存する下表の定数を掛け算したものが、「＋」欄に表示される値です。この各チャンネルの「＋」欄の値を全チャンネル足し算したものが、「合計 fps」になります。
本機では、この「合計 fps」の値が「最大 fps」(常に 480)を超えないように設定しなければなりません。

各チャンネルの解像度とフレーム数

チャンネル毎にフレーム数に解像度に対応した定数を掛け算した値。

合計 fps
各チャンネルの ＋ 欄の値を全チャンネル分、足し算した値。

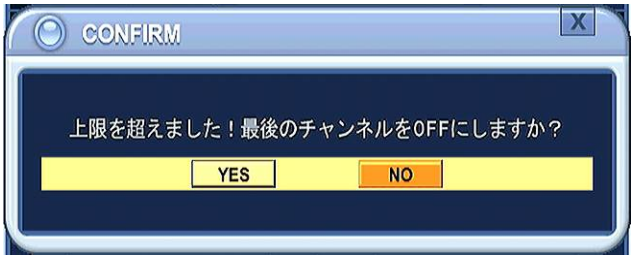
最大 fps
合計 fps の値として許される上限値

最大 fps に対する合計 fps のグラフ

解像度に応じた定数は下表のようになります。

解像度	定数
360×240	1
720×240	2
720×480	4

「合計 fps」として、「最大 fps」を超える値を設定しようとした場合、以下の警告メッセージが表示されます。



YES を選択すると、現在編集中のチャンネル以外のチャンネルの中でチャンネル番号の大きなチャンネルから順に OFF に設定されます。

＜情報＞
ひとつのチャンネルを設定した後に、他のチャンネルに同じ設定を適用したい場合は、⊞ DISPLAY ボタンを押します。

3　　デイ

デイ タブでは、通常の録画およびイベント録画の録画設定、または予約録画時の「デイ」ゾーンに関する録画設定をします。また、「連続」と「イベント」の両方を設定することで、通常時と、イベント発生時で異なる録画設定を適用することができます。

モード タブで録画するように設定したチャンネル

モード タブで録画しないように設定したチャンネル
(暗く表示されます)

連続録画に適用する設定　　イベント録画に適用する設定

項目	説明
解像度	MODE タブで設定した解像度を表示します。(ここでは変更不可)
音声	音声を録音するかしないかを選択します。 OFF ⇔ ON
F/S	各カメラ用の録画スピードを MODE タブで設定した値を上限として＋ － ボタンで選択できます。
画質	各カメラ用の録画画質を設定します。 低画質 ⇔ 中画質 ⇔ **高画質** ⇔ 超高画質 ⇔ 最高画質

連続 欄の F/S が OFF 以外のチャンネルは、連続的に映像データを録画します。また、チャンネル毎に異なる設定が可能です。他のチャンネルに設定をコピーするには、⊞ DISPLAY ボタンを押します。
イベント 欄の F/S が OFF 以外のチャンネルは、イベント録画が有効になります。但し、イベント録画を実行するには別途 デイイベント タブでの設定が必要です。さらに、モーション録画を実行する場合には「カメラ」メニュー内の、「感度設定」と「エリアの設定」が適切に設定されていなければなりま

せ

＜注意＞

- 本機は、工場出荷時イベント録画できない設定になっています。イベント録画をする場合は、デイ タブの「イベント」列及び デイイベント タブ内の設定をするようにしてください。また、予約録画をする場合は、ナイト タブ及び ナイトイベント タブも同様に設定してください。
- 本機は、工場出荷時「カメラ」メニューの「モーションエリア」が、全て無効な状態になっています。モーション録画をする場合は、モーションエリアを設定するようにしてください。
- 「連続」列の「F/S」に数値が設定されていて且つ「イベント」列の「F/S」に “OFF” が設定されている場合にはイベントの有無に関係なく連続録画が継続されます。

4　デイイベント

デイイベント タブでは、どのような情報に基づいて、どのチャンネルのイベント録画を実行するのかを設定します。また、予約録画が有効になっている場合には、デイゾーンの場合に適用されます。

項目	説明
CH	イベント録画に使用するチャンネル番号を示します。(変更はできません)
アラーム	アラーム録画する場合の、アラーム入力のチャンネルを設定します。 **OFF** ⇔ 1 ⇔ 2 ⇔ 3 ⇔ 4 ⇔ 5 ⇔ 6 ⇔ 7 ⇔ 8 ⇔ 9 ⇔ 10 ⇔ 11 ⇔ 12 ⇔ 13 ⇔ 14 ⇔ 15 ⇔ 16 ⇔ 全て アラーム入力については「デバイス」メニューの アラーム タブを参照してください。 参照→61 ページ
モーション	モーション録画する場合の、モーション検出チャンネルを設定します。 **OFF** ⇔ 1 ⇔ 2 ⇔ 3 ⇔ 4 ⇔ 5 ⇔ 6 ⇔ 7 ⇔ 8 ⇔ 9 ⇔ 10 ⇔ 11 ⇔ 12 ⇔ 13 ⇔ 14 ⇔ 15 ⇔ 16 ⇔ 全て モーション検出については「カメラ」メニューのモーション設定を参照してください。 ＜注意＞ モーション検出機能は、入力される映像信号の状態によっては正常に動作しない場合があります。
ビデオロス	ビデオロスによって録画する場合の、ビデオロス検出チャンネルを設定します。 **OFF** ⇔ 1 ⇔ 2 ⇔ 3 ⇔ 4 ⇔ 5 ⇔ 6 ⇔ 7 ⇔ 8 ⇔ 9 ⇔ 10 ⇔ 11 ⇔ 12 ⇔ 13 ⇔ 14 ⇔ 15 ⇔ 16 ⇔ 全て

	＜注意＞ ビデオロスをイベントとして録画を実行する場合は、ビデオロスの発生したチャンネル以外のチャンネルを録画するように設定してください。
システム	未使用(システムイベントによるイベント録画は出来ません。)
※	ボタンを押すと、「イベント編集」ウインドウを開きます。参照→43 ページ

例

- アラーム入力 2 がトリガされた場合にチャンネル 2 を録画
- チャンネル 3 でモーションを検出した場合にチャンネル 3 を録画

アラーム、モーション、ビデオロスの欄に表示される内容の意味は、下表のようになります。

表示	説明
数字(1～16)	選択した 1 つのチャンネル番号
全て	全てのチャンネルを選択した場合
※	全てではないが、複数のチャンネルを選択した場合(イベント編集で確認・設定が必要)

1　　イベント編集

「イベント編集」ウインドウでは、イベント録画のためのイベントを、より詳細に設定することができます。

例

チャンネル 1 またはチャンネル 2 のアラーム入力がトリガされたときにイベント録画します。

アラーム入力 1 と
2 を利用して
チャンネル 1 でイ
ベント録画

この状態で、元の デイイベント メニューに戻ると、チャンネル 1 のアラーム欄は「※」になっていることが確認できます。

＜注意＞ 録画メニューのイベント編集では、システムイベントを取扱うことはできません。

2　　連続 ＋ イベント (モーション／アラーム) 録画

連続とイベント録画は同時に設定することが出来ます。DVR は 24 時間通してビデオデータを記録しますが、イベントが発生したとき、録画スピードと画質を連続録画とは違うよう設定出来ます。

例

●REC (録画) ボタンを押すと、30FPS の高画質で連続録画が開始されます。このチャンネルでイベントが発生すると、30FPS の最高画質に変わります。そして、イベント持続時間が終了すると連続録画に戻ります。

＜注意＞
上の例のような予約録画を使用しない例では、モーション、アラーム、ビデオロスのようなイベントソースは、デイイベント タブで決定しなければなりません。

5　　ナイト

ナイト タブは 設定 タブで、「予約録画使用」を ON に設定した場合のみ有効になり、予約録画時の「ナイト」ゾーンに関する録画設定をします。

ナイト タブの設定項目は、デイ タブと同じです。参照→41 ページ

６　　ナイトイベント

ナイトイベント タブでは、予約録画のナイトゾーンで、どのような情報に基づいて、どのチャンネルのイベント録画を実行するのかを設定します。

ナイトイベント タブの設定項目は、デイイベント タブと同じです。参照→42 ページ

４　　予約録画

「予約録画」メニューでは、予約録画のスケジュールを設定します。予約録画を有効にするには、「録画」メニューの 設定 タブで「予約録画」を **ON** に設定してください。

１　　予約録画設定

予約録画設定 タブでは、各曜日の時間帯に「デイ」ゾーン「ナイト」ゾーン及び「録画休止」ゾーンを割り当てることで、録画スケジュールを作ります。

予約録画を「ON」にした場合の初期設定では、全て「ナイト」ゾーンに設定されています。

▲▼(上下)ボタンで曜日を選択し、↵ ENTER/ZOOM ボタンを押すと、その曜日の設定に入ります。マウスの場合は曜日をクリックします。

▲▼◀▶(方向)ボタンで、項目を移動します。「モード」欄では＋ －ボタンで値を変更し、「開始」及び「終了」の欄では数字ボタンで入力します。

項目	説明
モード	デイ(デイゾーン)、ナイト(ナイトゾーン)、非録画(録画休止ゾーン)を選択します。
開始	デイゾーンと録画休止ゾーンの開始時刻を指定します。
終了	デイゾーンと録画休止ゾーンの終了時刻を指定します。

＜注意＞

- ナイトゾーンの開始及び終了時刻を設定することは出来ません。デイゾーンと録画休止ゾーンに設定されていない時間帯が自動的にナイトゾーンと認識されます。
- 予約録画では、開始時刻と同じまたは開始時刻より早い時刻を終了時刻として設定することは出来ません。

変更を保存して元のメニューに戻るには、リモコンまたは、本体でカーソルを 保存 ボタンに合わせ ↵ ENTER/ZOOM を押します。変更せずに、このメニューを抜けるには、リモコンまたは本体の ☒ CANCEL/ESC ボタンを押します。

さらに、この設定を他の曜日にも適用する場合には、カーソルをコピー元の曜日のボタンに合わせた状態で、⊞ DISPLAY ボタンを押します。

変更を保存して、メニューを抜けるには、リモコンまたは、本体で 保存 ボタンにカーソルを合わせ ↵ ENTER/ZOOM を押します。マウス間場合は 保存 をクリックします。

変更せずに、このメニューを抜けるには、リモコンまたは本体の ☒ CANCEL/ESC を押します。マウスの場合は ☒ をクリックします。

＜情報＞
曜日の カスタム は、休日設定の中で使用するための特別なスケジュールです。編集の方法は他の曜日と同じですが、他の曜日との間でスケジュールをコピーすることはできません。

2　　休日設定

休日設定 タブでは、1 年間に最大 16 回までの例外的なスケジュールを設定することができます。
カーソル (強調表示されているメニュー) は、▲▼◀▶ (方向) ボタンを使って動かすことができます。

「モード」と 日数 は ＋ ー ボタンで選択し、「月/日」は数字ボタンで入力します。

項目	説明
モード	休日設定された日付の範囲に適用するスケジュールを選択します。 **OFF** ⇔ デイ ⇔ ナイト ⇔ 非録画 ⇔ 日 ⇔ 月 ⇔ 火 ⇔ 水 ⇔ 木 ⇔ 金 ⇔ 土 ⇔ カスタム **＜情報＞**「デイ」「ナイト」「非録画」は適用される日の全ての時間帯にその状態が適用されることを意味します。
月/日	休日設定の適用開始日を「月/日」で指定します。
日数	休日設定を適用する日数を指定します。(最大 15 日)

＜注意＞
ひとつのスケジュールが翌年に及ぶ場合、翌年の分は実行されません。翌年の分は 1 月 1 日から別のスケジュールとして登録するようにしてください。

変更を保存して、メニューを抜けるには、リモコンまたは本体で 保存 ボタンを選択し ↵ ENTER/ZOOM を押します。変更せずに、このメニューを抜けるには、リモコンまたは本体の ☒ CANCEL/ESC を押します。

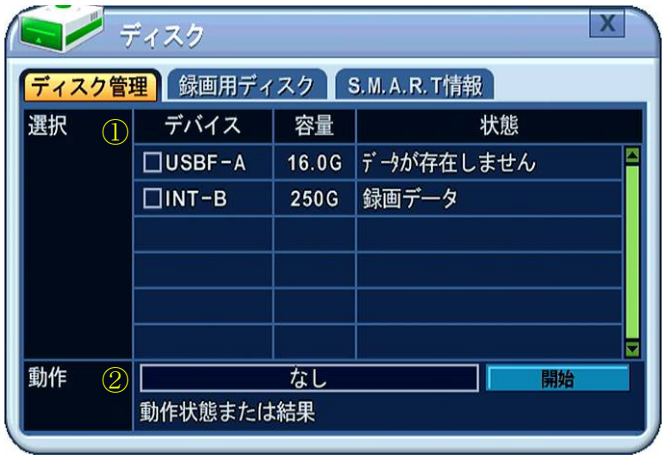
5　ディスク

ディスク メニューでは、内臓ハードディスク及び USB ストレージデバイスの管理機能を提供します。

1　ディスク管理

ディスク管理は、内臓ハードディスクと USB ストレージデバイスのフォーマットおよび、バックアップ用やミラーリング用のような使用法を割り当てることができます。

1. カーソル(強調表示されているメニュー)は、▲▼◀▶(方向) ボタンを使って動かすことができます。
2. HDD または USB ストレージデバイスのフォーマットまたは録画用割当てをするには、「選択」欄内から対象のデバイスをチェックします。
3. 「動作」欄左側で ＋ ― ボタンを使って処理を選択します。
4. 「動作」欄右側の 開始 ボタンに移動し ＋ ― ボタンを使って選択した処理を実行します。



①　選択

ここでは、接続されているデバイスの中で、録画用に割り当てられていない HDD と本機が認識しているその他の記録メディアが表示されます。

項目	説明
デバイス	メディアの接続状態を示します。 チェックボックス：ウインドウ下部の 動作 で処理を指定するデバイスをチェックします。 I N T - A：正面から見て右側のコネクタに接続された内臓 HDD I N T - B：正面から見て中央のコネクタに接続された内臓 HDD I N T - C：正面から見て左側のコネクタに接続された内臓 HDD U S B F：前面の USB 端子に接続されたデバイス U S B R：背面の USB 端子に接続されたデバイス
容量	HDD のおおよその総容量
状態	記録されているデータの種類または機器の種類を示します。 不明：新しい HDD または本機で読み書きできないフォーマットの HDD データが存在しません：録画用またはバックアップ用にフォーマットされ、未使用の HDD 録画データ：録画データが保存されている HDD バックアップデータ：バックアップデータが保存されている HDD 他のデータ：AVI ファイルを含む、録画またはバックアップ以外のデータが記録された HDD

② 動作

選択 欄のチェックボックスでチェックされた HDD に対しての処理方法を決定します。

項目	説明
なし	何も実行できません。(初期状態)
録画ディスクに指定	選択された HDD を録画用としてフォーマットします。 選択された HDD は、フォーマットの後「録画用ディスク」のタブに移動されます。
ミラー	ご利用いただけません
録画&ミラーに指定	ご利用いただけません
バックアップ用フォーマット	ご利用いただけません
LINK RECORD DISK	既に録画された録画用 HDD を、フォーマットせずに録画用 HDD として割り当てます。 この機能には以下に示す制限があります。 A. DVR に他の録画用 HDD が割り当てられていないこと。 B. 割り当てる HDD が、本機と同型の DVR で録画用ディスクとして記録された HDD であること。(他機種の録画用ディスクは使用できません) C. HDD 内に記録されたデータに時間的な重複が無いこと。

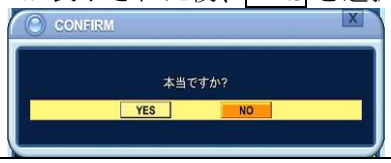
＜注意＞

- USB フラッシュメモリーはフォーマットしなくても動作します。
- USB デバイスを録画用に割り当てることは出来ません。バックアップだけに制限されます。

2 録画用ディスク

録画用ディスク タブでは、ディスク管理 タブ内で録画用に割り当てた HDD のみがリストとして表示され、除去 ボタンで割当てを解除することができます。

カーソル(強調表示されているメニュー)は、▲▼◀▶(方向) ボタンを使って動かすことができます。

項目	説明
容量, 範囲	以下の 2 項目を表示します。 ● HDD の使用量／総容量 ● 最も古い映像の録画日 ～ 最も新しい映像の録画日
デバイス	HDD の接続状態を示します。(ディスク管理 タブと同じ分類)
状態	録画用 HDD の状態を示します。通常は「安定」と表示されています。
動作	除去 ボタンで HDD を録画用から解除できます。 以下のような確認メッセージが表示された後、YES を選択すると解除を実行します。 

3　S.M.A.R.T 情報

項目	説明
ID	他のタブの デバイス と同じ情報を表示します。
不良セクタ	HDD の不良セクタ数を表示します。(代替処理済セクタ数)
温度	HDD の温度を表示します。
時刻	HDD の使用時間数の合計を表示します。
状態	HDD の状態を表示します。 正　　常：良好 異 常 可 能 性：問題があるかもしれない警告 異常可能性履歴：以前に「異常可能性」が起きた 損　　傷：異常発生 要交換

6　ネットワーク

「ネットワーク」メニューでは、本機を LAN 接続して使用する場合の、ネットワークに関する設定ができます。

1　　IP 設定

IP 設定 タブでは、TCP/IP に関する設定ができます。

項目	説明
IP 設定方式	本機に、TCP/IP 設定を割り当てる方法を選択します。 固 定 ＩP: 本機の TCP/IP 設定を直接手作業で入力します。 IP 自動割当 ：本機の TCP/IP 設定を DHCP サーバから自動的に割当てます。
IP アドレス	本機の IP アドレスを入力します。
ネットマスク	本機が接続されるネットワークのネットマスクを入力します。
ゲートウェイ	本機が接続されるネットワークのゲートウェイの IP アドレスを入力します。
第 1 DNS サーバ	本機が接続されるネットワークのプライマリ DNS サーバの IP アドレスを入力します。
第 2 DNS サーバ	本機が接続されるネットワークのセカンダリ DNS サーバの IP アドレスを入力します。

＜注意＞

- 本機を遠隔監視に使用する場合、LAN 上では、本機の IP アドレスが変化しないように設定してください。
- TCP/IP 関連の設定は、本機を接続するネットワークに応じて正しく設定しなければ、通信障害を引き起こす場合があります。企業内等ではネットワーク管理者の指示に従って、設定していただくようお願いします。

2　　設定

設定 タブでは、主に遠隔監視に関連するネットワーク設定ができます。

項目		説明
アクセス・ポート		遠隔監視ソフトウエアから、本機にアクセスする場合に使用する TCP サービスポート番号を 0001～9999 の範囲で指定します。インターネット回線では 1024 以上が推薦されます。(初期設定：**7000**)
使用帯域幅		将来利用できる予定の機能です、現在はご利用いただけません。「無制限」の状態でご利用ください。
アクセスブロック	PING	ON に設定すると、本機は PING(ICMP ECHO)に応答しなくなります。(初期設定：**OFF**)
	スキャン	ON に設定すると、本機は遠隔監視ソフトウエアからのオートスキャンに応答しなくなります。(初期設定：OFF)
ストリームモード		ネットワークのストリームモードを「通信専用設定」または「録画設定依存」から選択できます。 通信専用設定：映像と音声を指定された品質で転送します。 **録画設定依存**：録画設定に依存し映像音声データを最大のスループットで転送します。(初期設定)
ストリーム特性		「ストリームモード」で「通信専用設定」を選択した場合の画質を設定することができます。
自動ポート		将来利用できる予定の機能です、現在はご利用いただけません。

3　　E メール

本機は、イベント発生時に、イベント通知を電子メールとして送信することができます。

項目		説明
使用		メール通知の ON OFF を選択します。 O　F　F：メール通知しません。 デフォルト：製造元の提供するメールサーバを利用してメール送信します。 S　M　T　P：SMTP サーバを使用してメールを送信します。(予定機能)
送信間隔	イベント	イベント発生時にメールを送信する間隔を指定します。 即時 ⇔ 10 分 ⇔ 1 時間 ⇔ 1 日
	ログ	ログを送信する間隔を指定します。 1 日 ⇔ 1 週間
再試行回数		メール送信に失敗した場合の、再試行回数を指定します。 なし ⇔ 1 ⇔ 2 ⇔ 3 ⇔ 4 ⇔ 5 ⇔ 無制限
メール送信要因	イベント編集	メールを送信するイベントの種類を選択するための「イベント編集」ウインドウを開きます。
	ログ記録	ログをメールで送信するかどうかを指定します。
E メールアドレス		送信先のメールアドレスを、最大 5 箇所まで指定できます。

＜注意＞

- メールアドレスの入力に大文字のアルファベットは使用できません。(弊社従来機種を使用された経験のあるお客様はご注意ください)
- 本機の E メール通知機能で送信される電子メールは英文です。日本語には対応しておりません。
- 本機の E メール通知機能による電子メールは携帯電話等、一部の端末で受信できない場合があります。

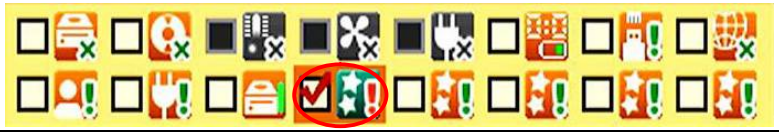
1　　イベント編集

「イベント編集」ウインドウでは、メールを送信するイベントの種類を選択します。

「イベント編集」ウインドウの基本的な操作は、イベント録画の場合と同じですが、E メール用の場合には、システムイベントが含まれます。システムイベントのチェックボックスのアイコンについては、下表に示します。

	HDD ディスク障害		管理者ログイン
	録画システム障害		停電復旧
	RTC 用電池電圧低下警告		ディスク満杯
	外部機器イベント		パスワード間違い※
	ネットワークリンク切断		

※　「パスワード間違い」チェックボックスは下図の位置になります。



4　　SMTP

E メール(左) タブの「使用」で「SMTP」を選択した場合に使用する SMTP サーバに関する設定をします。

項目	説明
サーバ	電子メール通知の送信に使用する SMTP サーバを指定します。
ポート設定	SMTP サーバのサービスポート番号を指定します。
認証	SMTP サーバの認証機能の有無を OFF, ON で指定します。
ユーザーID	SMTP サーバ用のログイン ID を指定します。
パスワード	SMTP サーバ用のパスワードを指定します。
テスト転送	電子メール通知の送信テストを実行します。

５　　DDNS (ダイナミック DNS)

DDNS タブでは、ダイナミック DNS サイトのアップデートに関する設定ができます。
一般的なインターネット接続契約では、接続毎または一定時間毎に IP アドレス (インターネットアドレス) が変化します。このような環境に、外部から接続しようとする場合、変化するアドレスに対して適切に接続されなければなりません。ダイナミック DNS では、特定のホスト名を使用することで、変化する IP アドレスに対して適切に接続できるようになります。

項目	説明
使用	O　F　F：DDNS 機能を使用しません。 デフォルト：本機の製造元が提供する DDNS サービスを使用します。 DYNDNS：米国 “dyndns.com” の提供する DDNS サービスを使用します。 ＮＯ－ＩＰ：米国 “NO-IP” の提供する DDNS サービスを使用します。
ドメイン名	“dyndns.com” “NO-IP” 利用時のドメイン名をホスト名から指定します。
ユーザーID	“dyndns.com” “NO-IP” 利用時のユーザーID を指定します。
パスワード	“dyndns.com” “NO-IP” 利用時のパスワードを指定します。
アップデートテスト	DDNS アップデートのテストを実行します。

使用をデフォルトに設定する場合、細かな設定をすることなく DDNS 機能をご利用いただけます。この場合、遠隔監視用の PC 側から見たアドレスは以下のようになります。

“HOSTNAME”.DVRHOST.COM

Internet Explorer から入力する場合は以下のようになります。

http:// “hostname”.dvrhost.com:“PortNumber”/

＜情報＞

- “HOSTNAME”及び“hostname”の部分には、本機 1 台毎に割り当てられた固有のホスト名を利用します。このホスト名は システム メニューの 情報 タブ内の「ホスト名」で確認することができます。
- “HOSTNAME”は大文字で入力しなければならないことを意味し、“hostname”は小文字で入力しなければならないことを意味します。
- “PortNumber”は本機の「ネットワーク設定」メニュー内で指定された「アクセスポート」を意味します。参照→55 ページ

上の例では、遠隔監視ソフトウエアでは“G580AA6.DVRHOST.COM”になります。
Internet Explorer では“http://g580aa6.dvrhost.com:7000”
使用 を DYNDNS または NO-IP に設定した場合、それ以下の ドメイン名 ユーザーID パスワード の設定が必要になります。

＜注意＞

- DDNS サービスは、海外の企業により運用されております、インターネット回線や、サーバの障害等により、動作が不確実になることがあります。高い信頼性を要求される場合には、固定 IP サービスをご利用いただき、IP アドレスで接続していただきますようお願いします。
- DVR が接続されているアクセスポイントの IP アドレスが変更されてから、DDNS に反映されるまで、数十分程度時間がかかることがあります。
- 米国“dyndns.com”及び“NO-IP”のサービスを利用するには、予め同社への申し込みが必要です。(申し込みは web 上で可能ですが、英文による手続きです)

7　デバイス

「デバイス」メニューでは、本機と外部機器の接続に関する設定ができます。

1　　設定

項目	説明
VGA 出力解像度	VGA 出力及び HDMI 出力の解像度を以下から選択できます。 800×600 ⇔ 1024×768 ⇔ 1280×720 ⇔ 1280×1024 ⇔ 1920×1080I ⇔ 1920×1080P HDMI モニタが接続されていて HDMI 自動検出 がチェックされている場合は自動設定されます。(予定機能) **＜注意＞** ● HDMI 接続されたモニタでは、正しいアスペクト比(縦横比)が得られないことがあります。その場合は、モニタを VGA OUT または VIDEO OUT に接続して、アスペクト比を 4.3 に設定してください。 ● この設定は、VGA OUT と HDMI の両方に適用されます。 ● 解像度の設定を手作業で実施する場合、低い解像度から順に試してください。 ● VGA OUT と HDMI を同時に使用する場合に、VGA OUT に接続されたモニタが正しく表示されない場合は、手作業で低い解像度から順に試してください。
音声設定	どの録画チャンネルに、どの音声入力を割り当てるかを指定します。(4, 8 チャンネル機は ON / OFF のみ) **＜注意＞** 音声と映像は、若干の時間的なずれを生じることがあります。

コントローラ	ジョイスティックコントローラの種類とボーレートを選択します。 種類：なし ⇔ デフォルト ⇔ キーパッドⅡ ボーレート：2400BPS ⇔ 4800BPS ⇔ 9600BPS ⇔ 19200BPS ⇔ 38400BPS ⇔ 57600BPS ⇔ 115200BPS **＜注意＞** 弊社ではジョイスティックコントローラの輸入取り扱いは致しておりません。この機能に関してはサポート対象外とさせていただきます。
PTZ イベント	PTZ イベントの遅延時間を設定します。 OFF ⇔ 1 秒 ⇔ 2 秒 ⇔ 3 秒 ⇔ 4 秒 ⇔ 5 秒 **＜注意＞** この機能は、正しく設定しても、一部の機能が正常に動作しない場合があります。これは、本機の製造元と、PTZ カメラの製造元が異なるため、コマンドの互換性を完全に保つことが困難なためです。従いまして、PTZ 制御機能をご利用いただく場合は、正しく動作しない場合があることを容認した上でご使用いただきますようお願い致します。
アラーム出力	アラーム出力の遅延時間を設定します。(0～5 秒) OFF ⇔ 1 秒 ⇔ 2 秒 ⇔ 3 秒 ⇔ 4 秒 ⇔ 5 秒
拡張機器	予定機能(ご使用いただけません)

2　　アラーム

アラーム タブでは、アラーム入出力及びアラームブザーに関する設定ができます。

項目		説明
入力		各アラーム入力の入力方式を切替えます。 OFF：アラーム入力を無効にします。 **N.O.**：端子の短絡でアラーム発生と認識します。(一般に火災警報器等に使用) N.C.：端子の開放でアラーム発生と認識します。(一般に侵入センサー等に使用)
出力	使用	アラーム出力の出力方式を切替えます。 **OFF**：アラーム出力を無効にします。 N.O.：アラーム発生で端子を短絡します。 N.C.：アラーム発生で端子を開放します。
	無効	アラーム発生後、アラーム出力を通常に戻す方法を指定します。 イベント：自動的に通常の状態に戻します。 手動設定：このメニューの右側にある制御」ボタンで通常の状態に戻します。
	※	アラーム出力のための「イベント編集」ウインドウを開きます。
	制御	アラーム出力の ON OFF を直接手作業で実行するボタンです。 ＜注意＞ ボタン上の O N OFF の表示は、ボタンを操作した後の状態を示すもので、現在の状態を示すものではありません。
ブザー	使用	**OFF**：アラームブザーを無効にします。 O N：アラームブザーを有効にします。
	無効	アラーム発生後、アラームブザーを止める方法を指定します。 イベント：自動的に止めます。 手動設定：同メニューの右側にある「制御」ボタンで止めます。
	※	アラームブザーのための「イベント編集」ウインドウを開きます。
	制御	アラームブザーの ON OFF を直接手作業で実行するボタンです。 ＜注意＞ ボタン上の O N OFF の表示は、ボタンを操作した後の状態を示すもので、現在の状態を示すものではありません。

1　　イベント編集

「イベント編集」ウインドウでは、アラーム出力またはブザーを鳴動させるイベントの種類を選択します。

「イベント編集」ウインドウの基本的な操作は、E メール用の場合と同じで、システムイベントが含まれます。システムイベントのチェックボックスのアイコンについては、下表に示します。

	HDD ディスク障害		管理者ログイン
	録画システム障害		停電復旧
	RTC 用電池電圧低下警告		ディスク満杯
	外部機器イベント		パスワード間違い※
	ネットワークリンク切断		

※ 「パスワード間違い」チェックボックスは下図の位置になります。

3 PTZ イベント

＜注意＞

この機能は、正しく設定しても一部の機能が正常に動作しない場合があります。これは、本機の製造元と、PTZ カメラの製造元が異なるため、コマンドの互換性を完全に保つことが困難なためです。従いまして、PTZ 制御機能をご利用いただく場合は、正しく動作しない場合があることを容認した上でご使用いただきますようお願い致します。

アラームトリガ、モーション検出またはビデオロス発生のような場合、本機は予め設定した命令を PTZ カメラに送ります。PTZ オプションが有効にされ、そしてカメラチャンネルにプロトコルが割り当てられていなければなりません。

項目	説明
チャンネル	希望する PTZ カメラのチャンネルを選択します。
有効	イベントが検出されたとき、PTZ アクション [なし ⇔ 位置 ⇔ ツアー] 及びプリセット番号またはツアーグループを設定します。
無効	イベント持続時間が切れた後のカメラポジションを選択します。

＜注意＞

PTZ イベントのために PTZ カメラのモーション検出はセットアップできません。信号がループします。

8　　システム

システム メニューでは、本機のシステムに関する基本的な設定ができます。

1　　設定

項目	設定
録画装置名	DVR 名を設定すると、本機を遠隔監視ソフトウエアに登録したときに、この名称が自動的に DVR 名称の初期設定になります。 使用可能な文字は半角英数及び一部の特殊記号のみです。 ＜注意＞ 遠隔監視ソフトウエアからは日本語による入力を受け付けますが、文字化けしますので日本語での登録は出来ません。
キー操作音	キー操作時のブザー音の **ON** OFF を設定します。(初期設定 **ON**)
自動ログアウト	本機の操作をしない状態で、指定した時間が経過した場合、自動的にログアウトするまでの時間を以下から選択できます。初期設定：**3 分** [OFF ⇔ 1 分 ⇔ **3 分** ⇔ 5 分 ⇔ 10 分] ＜注意＞ 再生動作中に、現在ログイン中のユーザーがタイムアウトした場合、再生は自動的に停止しライブ監視状態に戻ります。長時間の連続再生をしたい場合は「OFF」に設定してください。
HDD 状態監視	HDD の自己診断情報 (S.M.A.R.T) を取得するかどうかを選択します。 OFF：本機は HDD の自己診断情報を取得しません。 **O N**：本機は HDD の自己診断情報を取得します。
タッチキー感度	前面パネルのタッチキーの感度を設定します。値が大きいほど敏感になります。 1～5 (初期設定：**3**)

2　　日時設定

日時設定 タブでは本機に内蔵時計の日時設定と時刻同期に関する設定ができます。

＜注意＞
本機をご購入後、初めて使用される前には、必ず日時とタイムゾーンを設定してください。

項目	説明
タイムゾーン	協定世界時(UTC)またはグリニッジ標準時(GMT)との時差を指定します。 日本標準時 (JST) の場合は GMT +09:00 (STANDARD) を指定します。 初期設定：**GMT +09:00 (STANDARD)**
日付表示形式	日付の表示形式を以下から選択します。初期設定 年/月/日 **年/月/日** ⇔ 月/日/年 ⇔ 日/月/年
NTP 時刻同期	**OFF**：NTP 時刻同期機能を使用しません。 O N：NTP 時刻同期機能を使用します。
NTP サーバー	本機が時刻の基準とする NTP サーバを指定します。
NTP 同期テスト	開始 で NTP サーバとの通信テストを開始します
日付	日付を入力します。(「NTP 時刻同期」が ON の場合は無効)
時刻	時刻を入力します。(「NTP 時刻同期」が ON の場合は無効)

＜情報＞

- 本機は、NTP(Network Time Protocol)による時刻同期クライアント機能を有しており、正確な時刻元に同期させることで、内蔵時計の時刻合わせを自動化することができます。
- NTP サーバは、企業内で準備していただくか、公的な機関がインターネットで公開している公開 NTP をご利用ください。

＜注意＞

- NTP は、全世界で共通に利用されている時刻同期の方式です。従いましてタイムゾーン(協定世界時に対する時差)を正しく設定していただく必要があります。
- 参照先 NTP サーバが十分な安定度を持たない場合、同期できない場合があります。(例：一般のパソコン)
- 日時を修正することによって、録画されたデータに日時の重複が発生してしまった場合、重複した範囲は正常に再生出来なくなります。

3　　ユーザー設定

ユーザー設定 タブでは、本機を操作することができるユーザーと、その操作権限を設定します。

項目		説明
ユーザー/名称		ユーザー：ユーザーの種類を「管理者」及び「ユーザー1」～「ユーザー5」の合計 6 人から選択できます。 名　　称：6 人のそれぞれのユーザーに固有の名称を付けることができます。(半角英数で大文字も小文字も使用可能ですが、ネットワーク接続時には大文字小文字は区別されません)
有効化		OFF：選択されたユーザーを無効にします。 O N：選択されたユーザーを有効にします。
権限		選択されたユーザーの権限を以下の 6 項目について有効と無効を切替えることができます。 再生　PTZ 制御　バックアップ　設定　録画停止 システムシャットダウン
ネットワーク		それぞれのユーザーが、ネットワーク経由で本機に接続するときに使用するパスワードを選択します。 拒　　否：選択されたユーザーがネットワーク経由で接続できないようにします。 システム P/W：選択されたユーザーが本機を直接操作するときに使用するパスワードを、ネットワーク接続用にも併用できるようにします。 カスタム P/W：選択されたユーザーのために、ネットワーク接続専用のパスワードを作成できるようにします。最大文字数：半角 14 文字利用可能な文字種：A～Z, a～z, 0～9
チャンネル		選択されたユーザーに、視聴を許可するライブ表示チャンネルを選択します。
パスワード	現在	システムパスワード変更時に現在のパスワードを入力します。(管理者のみ)
	新しい	システムパスワード変更時に新しいパスワードを入力します。
	再入力	システムパスワード変更時に新しいパスワードを確認のために再入力します。

＜注意＞

- 初期設定では、管理者のみが有効化されています。
- 管理者を無効にすることはできません。
- 管理者に初期設定されたユーザー名は “admin”、システムパスワードは “000000” です。
- 管理者には全ての権限が与えられており、これを制限することはできません。
- ユーザー1～ユーザー5 の「設定」の権限では、システム メニューに入ることはできません。
- ユーザー1～ユーザー5 の視聴可能なチャンネルを制限した場合、ユーザーがログアウトした状態では、全てのユーザーに許可されているチャンネル以外のチャンネルは見ることができなくなります。
- 録画された映像を再生する場合の視聴チャンネル制限は出来ませんので、**制限しているユーザーであっても録画された映像を再生することによって制限されたチャンネルの映像を見ることは可能**ですので、この機能の利用にあたっては十分ご注意ください。
- 特定のチャンネルを視聴制限したユーザーに、再生映像によっても制限チャンネルを見せたくない場合は、そのユーザーの再生を制限するように設定してください。
- 初期設定の状態でユーザー1～ユーザー5 の各ユーザーを有効にしただけの場合、これらのユーザーによるネットワーク経由の接続は「拒否」に設定されています。

4　　アップデート

アップデート タブでは、本機のファームウエア(FW)のバージョン確認とアップデートを実行できます。

アップデートプログラムは、必要に応じて弊社から代理店・販売店を経由して提供いたします。

項目	説明
アップデート	アップデートの方法は、下の説明を参照してください。
ALL バージョン BIOS バージョン OS バージョン APP バージョン	各ソフトウエアのバージョンを表示します。

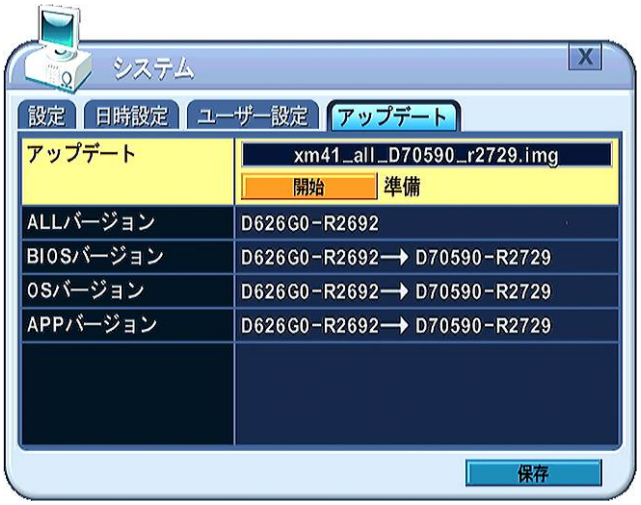
アップデート作業は、以下の手順で実施します。

1. 適当な USB メモリーを FAT32 でフォーマットしてください。(フォーマット済みの場合は省略可)

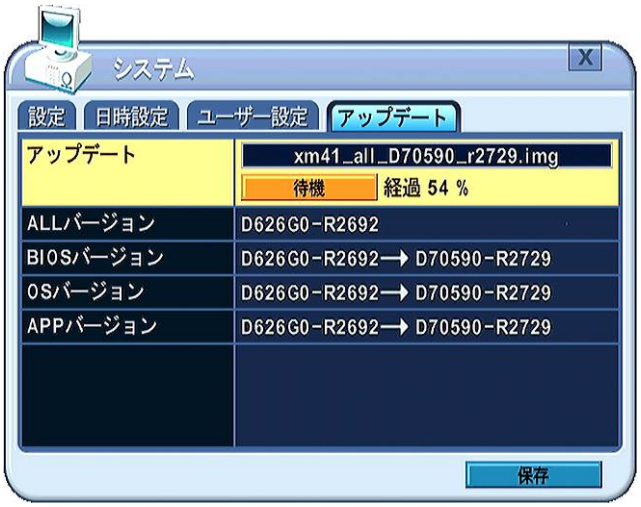
2. USB メモリーのルートフォルダに、パソコンで FW ファイルをコピーします。
(USB メモリーに他のファイルやフォルダがある場合は削除します)
3. 本機に LAN ケーブルが接続されている場合は、必ず抜いてください。
4. 録画中の場合は録画を停止してください。
5. USB メモリーを本機に差込ます。
6. メニュー→システム→アップデート と進むと現在の FW バージョンが表示されます。

7. 開始 ボタンを押すと、USB メモリー内のファイルをスキャンします。(ボタンを押した後は 待機 に変化します)

8. ファイルのスキャンを完了すると、上側のボックスで FW ファイルを選択可能になります。
9. ＋ ― ボタンで適切なファイルを選択すると、選択したファイルのバージョン番号が現在のバージョン番号の右側に表示されますので、確認して 開始 ボタンを押します。



10. アップデートが開始され、アップデート中は以下のように進捗が表示されます。



11. アップデートを完了すると、進捗が「成功」と表示され、ボタンが 再起動 に変わりますので、本機を再起動させてアップデートは完了します。

＜注意＞

- アップデート中は、ボタン操作をしたり、本機の電源を切ったりしないでください。故障の原因になる場合があります。
- 本機をアップデートする場合は、必ず販売店または弊社にご相談いただき、正規のアップデートファイルを利用してアップデートを実行していただきますようお願い致します。
- 不正なアップデートファイルによって、本機をアップデートされた場合、その後の故障や損傷につきまして、弊社及び製造元では一切の責任を負わないものとします。
- 不正なアップデートファイルによって、本機をアップデートされた場合、保証期間内であっても保証対象外とさせていただく場合があります。

5　　システム情報

「システム情報」メニューでは、本機のシステムに関する情報を表示します。

1　　サマリー (概要)

項目	説明
モデル情報	本機の映像圧縮方式とチャンネル数を表示します。
ホスト名	本機のホスト名を表示します。これは、製造元が提供するデフォルトの DDNS 機能を利用する場合に必要です。
MAC	本機の MAC アドレスを表示します。本機を接続するネットワークのルータ設定をする場合等に必要になる場合があります。
言語	本機の GUI 表示言語の名称を表示します。
ネットワーク	本機の IP アドレスと TCP サービスポート番号を表示します。
録画用ディスク容量	現在の設定で本機に録画可能な映像データの最大容量を表示します。
ディスク概要	本機の内蔵 HDD の構成を表示します。
バージョン	本機の F/W バージョンを表示します。

2　　ディスク

項目	説明
内蔵	接続された内蔵 HDD の容量を表示します。
外部 1	未使用
外部 2	未使用
USB 前面	前面の USB 端子に接続された記憶装置の容量を表示します。
USB 背面	背面の USB 端子に接続された記憶装置の容量を表示します。

3　　ネットワーク

ネットワークを通して本機にログインしているユーザーの状態を表示します。

項目	説明
NO.	接続順に番号付けされます。
IP アドレス	接続しているユーザーの IP アドレスを表示します。
ユーザー	接続しているユーザーを表示します。
サービス	利用しているサービスを示します。

VII パン チルト ズーム制御

＜注意＞
この機能は、正しく設定しても一部の機能が正常に動作しない場合があります。これは、本機の製造元と、PTZ カメラの製造元が異なるため、コマンドの互換性を完全に保つことが困難なためです。従いまして、PTZ 制御機能をご利用いただく場合は、正しく動作しない場合があることを容認した上でご使用いただきますようお願い致します。

PTZ 制御は、サポートされたサードパーティー製ドームカメラ用に利用できます。PTZ オプションは、それぞれのカメラチャンネルのために設定されなければなりません。PTZ 設定については、カメラメニューの PTZ 設定を参照してください。参照→35 ページ

1　PTZ メニュー

1) PTZ 制御を有効にするには、制御したいカメラの全画面表示を選択します。
2) 次に、メインメニューで「PTZ」を選択するか ⊕ P/T/Z/STEP_B ボタンを押します。

下に示すようなショートカットメニューボックスがポップアップされます。

＜注意＞ 特定制御のためには、**ヘルプメニュー**を参照してください。

表示	動作
MENU	• 「ヘルプ」メニューを表示するには、このボタンを押します。ヘルプメニューを中止するには、再び MENU ボタンを押します。 • 「パンチルト」オプションを終了するには、このボタンを押します。
↵ ENTER/ZOOM	• 機能全体を使うには、PTZ カメラ制御インターフェースを拡張します。

	ショートカットメニューにするには再びこのボタンを押します。
	• 上下チルト • 左右パン
	• ズームイン・アウト

1　　マウスで PTZ を制御するには

ユーザーはマウスコントローラによって PTZ カメラを制御できます。

動かすための方向ボタンの代わりにマウスカーソルに従います。

マウスを右クリックし、メインメニューから PTZ 制御を選択します。

PTZ メニューとコントロールボックスが下図のように表示されます。

マウスカーソル (マウスポインタ) を長方形の枠の内側に置き、マウスの左ボタンを押しながら希望する方向にマウスカーソルを動かします。

＜注意＞

マウスカーソルは、マウスの左ボタンを押している間、この長方形の枠の外に出すことは出来ません。

バーチャル PTZ コントローラを出すには、[↵ ENTER/ZOOM] ボタンを押します。ズームイン・アウト、GOTO、ツアー及びその他の機能はバーチャル PTZ コントローラを使うことによって制御できます。

PTZ モードを抜けるには、PTZ コントローラの [☒ CANCEL/ESC] ボタンを押します。

2　プリセット & ツアー

ボタン	機能
	プリセット位置のセット a. 希望する位置に PTZ を動かす。 b. プリセットボタンを押す。 c. Custom 1 が点灯。 d. プリセット位置用の番号をセット。 e. 保存し抜けるために [↵ ENTER/ZOOM] を押す。

	プリセット位置に行く：リモコンの ◀◀ REW/INFO a. Go to ボタンを押す。 b. 希望するプリセット # を入力し、↵ ENTER/ZOOM を押す。
	自動ツアー開始：リモコンの BACKUP a. Auto Tour ボタンを押す。 b. ＋ ボタンを押し、プリセットの範囲を入力し、↵ ENTER/ZOOM ボタンを押す。

1　　ツアーグループ

プリセットされたツアーグループは PTZ プリセットのカメラをプログラムされた順序で動かすことを可能にします。

① 通信設定

適切な機種と、それから一致するボーレートと PTZ ID (アドレス) を入力します。DVR とプロトコルを合わせるには、適切なジャンパ設定のために PTZ の製造元のマニュアルを参照してください。

② ツアー

4 つのプログラム可能なツアーがあります。値を変更するには、＋ ー ボタンを使います。

[グループ 1 ⇔ グループ 2 ⇔ グループ 3 ⇔ グループ 4]

③ これはそれぞれのツアーグループのサブメニューです。メニューは左側の欄に設定項目の名称が表示され、右側の欄で設定する値を入力します。

a. グループリスト

それぞれのツアーグループには、最大 10 のプリセット位置を設定できます。

b. プリセット番号

開始プリセット番号と停止プリセット番号を入力します。

c. 持続時間

現在のプリセットの終了と次のプリセットの開始の間の休止をセットします。

d. 変更

このオプションを使ってツアーリストを、追加、変更、クリアします。

＜情報＞ツアーリストを追加するには、b ～ d の手順を繰り返します。

3　　カスタム機能

ボタン	機能
	PTZ カスタム機能 1：リモコンの ⊞ DISPLAY
	PTZ カスタム機能 2：リモコンからは操作出来ません。(予定機能)
	PTZ カスタム機能 3：リモコンからは操作できません。(予定機能)

オートパン／オートチルト／パワー

ボタン	機能
	オートパン：リモコンからは操作できません。(予定機能)
	オートチルト：リモコンからは操作できません。(予定機能)
	電源 ON ／ OFF：リモコンからは操作できません。(予定機能)

PTZ カメラ機種 ― パン／チルト／ズームカメラリスト

#	機種名	3X	Speed	Preset	Go to	Tour	A Pan	A Tilt	Pat	Me	Esc / Enter
1	PELCO, D	○	○	○	○	○	○		○	○	
2	RVT, EZ Protocol	○	○	○	○	○			○	○	○
3	PELCO, P	○	○	○	○	○	○		○	○	
4	Hitron, Fastrax 2	○	○	○	○	○			○	○	○
5	GE, CyberDome										
6	Bosch, Auto Dome										
7	AD, DeltaDome										
8	MERIT LINLIN										
9	APPROMEDIA										
10	LG,MULTIXE CAM/CAM										
11	LG,MULTIXE CAM/DOME										
12	BBV,PROTOCOL V2										
13	Videotrec										
14	D-MAX, PTZ PROTOCOL										

＜情報＞スピードは 8 段階です。

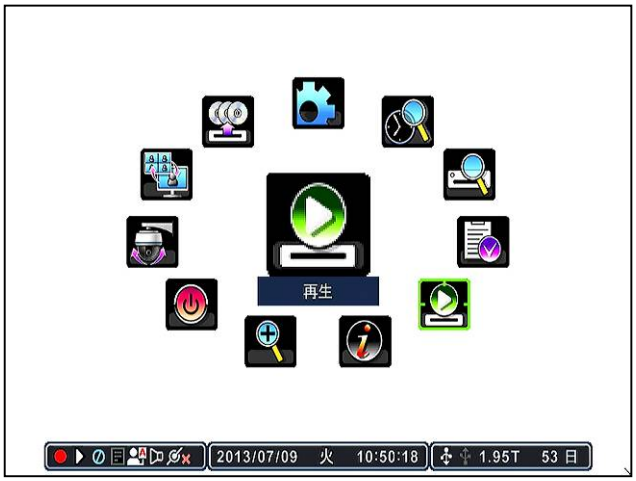
VIII　再生 検索

本機は、再生と検索の 2 つの再生モードをサポートし、データベースから素早く効率的に特定の範囲を見つけて再生することができる複数の検索機能を持っています。
それは、日時、イベント、イベントエリア、及びログ検索です。

＜注意＞
再生動作中に、現在ログイン中のユーザーがタイムアウトした場合、再生は自動的に停止しライブ監視状態に戻ります。長時間の連続再生をしたい場合は、システム メニューの 設定 タブの「自動ログアウト」を「OFF」に設定してください。参照→64 ページ

1　再生

本機は、◀▶PLAY ボタンを押すかメインメニューから「再生」を選択すると、ライブまたは録画モードに関わらず、最新の録画データを再生します。



録画データの最後に達したとき再生を停止します。
本機は、再生中に逆再生、一時停止、16 倍までのスピードサーチ、またはコマ送りができます。

＜注意＞
本機は再生中に、何も操作を行わず、自動ログアウト設定された時間に達すると、自動ログアウトと同時に再生を停止します。長時間の連続再生をする場合は、自動ログアウトを「OFF」に設定してください。参照→64 ページ

2　時間検索

1. 時間検索チャートにアクセスするにはメインメニューから「時間検索」を選択するか TIME SEARCH ボタンを押します。

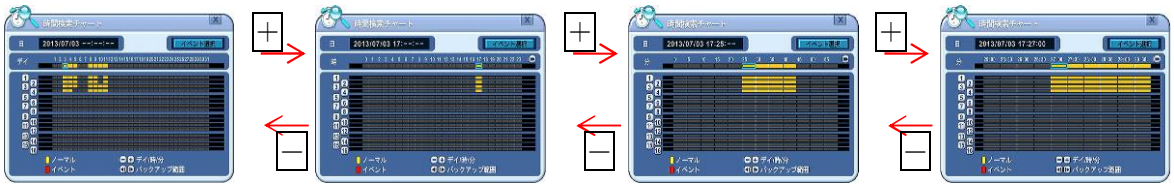
2. バーグラフ状のカレンダーが表示され、録画データはイベント録画が赤色、ノーマル録画が黄色で表示されます。イベント録画とノーマル録画が重複する部分は赤色、カーソルは水色の枠で表示されます。

3. 方向▲▼◀▶ボタンで全チャンネルまたは、個別のチャンネルの見たい日付をカーソルで選択します。
分割画面表示で再生したい場合は、「全チャンネル」を選択します。
全画面表示で再生したい場合は、「個別のチャンネル」を選択します。

分割画面で全チャンネルを表示

全画面でチャンネル 2 を表示

4. ＋ボタンを使って「時」を表示させ、さらに＋ボタンで「分」を表示させ、↵ ENTER/ZOOM ボタンで再生を開始します。表示範囲を「分」→「時」→「日」と広げるには、－ボタンを使います。



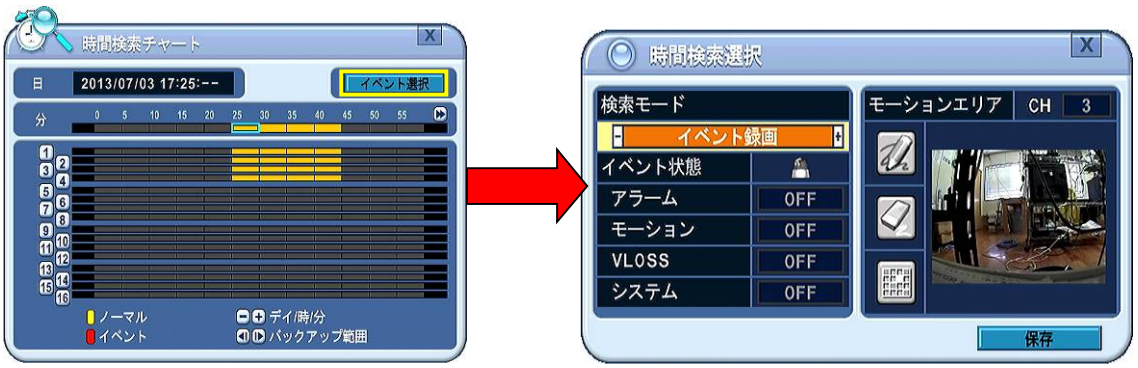
5. 再生を開始したい位置で ↵ ENTER/ZOOM ボタンを押すと、再生を開始します。

＜情報＞
- リモコンの ◀ ▶PLAY ボタンを押すと、1 回押す毎に、現在表示されているページの最後と最初へ、交互にジャンプします。
- 分割画面表示と全画面表示は、再生開始後に切替えることもできます。

3　イベント選択

イベント選択では、時間検索チャートの表示に含める、イベントの範囲を変更することができます。

1. 設定を変更するには、時間検索チャート右上の イベント選択 ボタンを押します。



2. 「時間検索選択」ウインドウが開きます。
3. ▲▼◀▶(方向) ボタンでカーソルを移動し変更する項目を選択します。
4. ＋－ ボタンで値を変更します。
5. ↵ ENTER/ZOOM ボタンで変更を保存して時間検索チャートに戻ります。

項目	説明
検索モード	イベント選択の動作モードを選択します。 イベント録画：全てのイベント録画を表示します。(初期設定) イベントソース：イベントの種類を選択してイベント録画を表示します。 モーションエリア：録画映像の中から、イベント録画の状態に関係なく、動きを検出して表示します。
イベント状態	検索モードで「イベントソース」を選択した場合に選択できるイベントの種類を「イベント編集」ウインドウを使って選択できます。

アラーム	検索モードで「イベントソース」を選択した場合に、アラーム録画を含めるか含めないかを選択します。
モーション	検索モードで「イベントソース」を選択した場合に、モーション検出による録画を含めるか含めないかを選択します。
ビデオロス	検索モードで「イベントソース」を選択した場合に、ビデオロスによる録画を含めるか含めないかを選択します。
システム	未使用
モーションエリア	検索モードで「モーションエリア」を選択した場合に、それぞれのチャンネルのモーション検出エリアを設定します。

4　時間入力

再生を開始したい日時を、数字ボタンで直接入力する方法です。

1. TIME SEARCH ボタンを 2 秒間、長押しします。
2. 「時間入力」ウインドウが表示されたら、見たい日時を数字ボタンで直接入力します。

3. ↵ ENTER/ZOOM ボタンを押すと再生を開始します。

5　ログリスト検索

本機の動作状態を記録したログを閲覧し、そのログに記録された日時から再生することができます。

1. ログを表示するには、メインメニューから「ログ」を選択するかリモコンの ▶▶ FF/LOG ボタンを押します。

2. タブにカーソルがある場合は、◀▶ ボタンでタブを選択することで、下表の分類に分けて表示させることができます。
3. ログのフィールド内にカーソルがある場合は、▲▼ (上下) ボタンでカーソル移動及び ◀▶ (左右) ボタンでページ移動ができます。

タブ名	説明
オール	全てのログを表示します。
システム	システムに関するログを表示します。
ネットワーク	ネットワークアクセスのログを表示します。
イベント	イベント録画のログを表示します。
ビデオロス	ビデオロス(カメラ入力の映像信号中断)のログを表示します。

＜情報＞ログリストは HDD に保存されます。

1　　ログ情報の詳細

ログリストにアイコンがある行は、詳細情報があることを意味しています。

アイコンの行を選択し、◀◀ REW/INFO ボタンを押すと、詳細情報が表示されます。

IX バックアップ

1　手動バックアップ

手動バックアップは、USB メモリー、USB HDD に、録画映像をバックアップすることができます。

1. バックアップ先のデバイス (USB メモリー、USBHDD) がフォーマットされていない場合は、「デバイス」メニューからフォーマットしてください。
2. 前面パネルの BACKUP ボタンを押すか、メインメニューで「バックアップ」を選択すると、「バックアップ」ウインドウが表示されます。

3. それぞれの項目を指定します。項目の詳細は下表の通りです。

項目	説明
デバイス	バックアップ先のポートと機器を ＋ ー ボタンで選択します。ここで選択可能な選択肢の数は、本機に接続された記憶装置の状態によって異なります。 (上図の例では、前面パネルの USB ポートに接続された 16GB のデバイスを示しています。)
チャンネル	バックアップ対象に含める録画チャンネルを選択します。
選択	全 デ ー タ：連続録画とイベント録画の両方をバックアップ対象に含めます。 イベントのみ：イベント録画のみ、バックアップ対象に含めます。
ファイル	● データ ＋ ビューアー 本機の独自フォーマットで、専用再生ソフトウエア「McdPlayer」と共にバックアップします。(遠隔監視ソフトがないパソコンで再生する場合はこちらを選択します) ● データのみ 本機の独自フォーマットで、専用再生ソフトウエアをインストールすることなくバックアップします。(遠隔監視ソフトを持ったパソコンまたは本機の同型機で再生する場合は、こちらを選択することもできます。) ● AVI Windows 標準の AVI 形式でバックアップします。再生には Windows Media Player 等、汎用のソフトウエアが利用できます。 **＜情報＞** 本機でバックアップする AVI ファイルは、 “x264” コーデックです。お手持ちのパソコンで再生できない場合は、対応するコーデックをインストールしてください。(付属 CD-ROM の “ffdshow” をご利用ください)

期間	バックアップの開始日時と終了日時を指定します。
動作	開始 ボタンで、指定された条件でバックアップを開始します。ボタンの右側には進捗が表示されます。

4. 最後に 開始 ボタンを押すと、バックアップが始まります。

＜注意＞

- 手動バックアップ中に、他の操作をすることは出来ません。

1 バックアップ期間の簡単な指定方法

上記の手動バックアップで、「期間」は直接数字ボタンで入力できますが、BACKUP ボタンで「バックアップ」ウインドウを表示したときに、最初に表示させる「期間」を簡単に指定することができます。

1. メインメニューで時間検索を選択するか TIME SEARCH ボタンを押します。

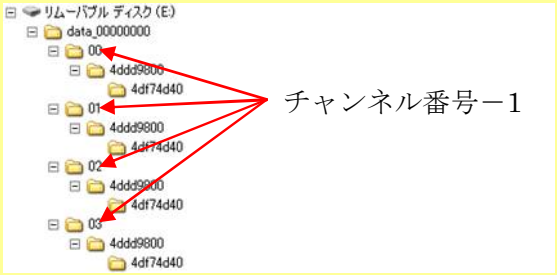
2. 「時間検索」ウインドウ内でカーソルを動かし、バックアップ開始位置で ⊕ ◀II PTZ_STEP_B ボタンを押すと、押した位置が紫色に変化します。

3. 次に、バックアップ終了位置にカーソルを移動して II▶ ◻STEP_F/SPOT ボタンを押すと、開始位置と終了位置の範囲が紫色になります。

4. この状態で、☒ CANCEL/ESC ボタンを押して「時間検索」ウインドウを閉じます。
5. BACKUP ボタンを押して「バックアップ」ウインドウを開くと、「期間」の項目に「時間検索」ウインドウで指定した期間が反映されます。

＜注意＞

- USB 機器にバックアップする場合のフォルダ構成は下図の例のようになります。



バックアップデータが保存されるフォルダは、録画チャンネル毎に分けられていますが、ファイル名を見るだけで直接録画された日時を知ることはできません

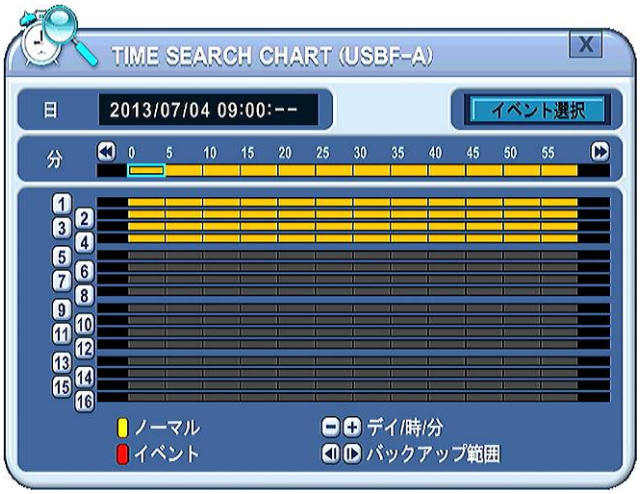
- 手動バックアップは、指定された日時の範囲より数分程度長めに保存されることがあります。

２　　手動バックアップデータの再生

本機で手動バックアップした内蔵ドライブまたは USB デバイスのデータで「DEFAULT WITH MCDPLAYER」または「DEFAULT WITHOUT MCDPLAYER」としてバックアップされたものは本機で再生することができます。

1. 再生したい USB デバイスを本機の USB ポートに接続します。
2. メインメニューから 外部装置検索 を選択すると、「外部増設ディスク検索」ウインドウが表示されます。

3. ＋ － ボタンで検索対象とする内蔵ドライブまたは USB デバイスを選択し ↵ ENTER/ZOOM ボタンを押すと、時間検索ウインドウが表示されます。



時間検索ウインドウの操作方法は、通常の時間検索と同じです。参照→78 ページ

２　　自動バックアップ(FTP)

本機は、録画された映像データを外部の FTP サーバに自動的に転送することができます。

1. BACKUP ボタンを押します。
2. ◀ ▶ (左右) ボタンで 自動バックアップ タブを選択します。

項目	説明
デバイス	FTP のみ選択可能です。右側の 設定 ボタンで「FTP 設定」ウインドウを開きます。
チャンネル	バックアップ対象に含める録画チャンネルを選択します。
選択	全 デ ー タ：全ての録画映像をバックアップします。 イベントのみ：イベント録画された映像のみバックアップします。
期間	1 日の中で自動バックアップする時刻の範囲を指定できます。
動作	開始 ボタンを押すと、指定された条件でバックアップを開始します。ボタンの右側には進捗が表示されます。

3. 設定 ボタンを押すと、「FTP 設定」ウインドウが開きます。「FTP 設定」では、接続先 FTP サーバに関する設定ができます。

項目	説明
サーバー	接続先 FTP サーバの IP アドレスまたはホスト名.ドメイン名を入力します。 (最大 49 文字)
ポート設定	接続先 FTP サーバのサービスポート番号を指定します。一般的には「0021」です。
認証	O N：接続先 FTP サーバが認証を必要とする場合には “ON” を選択します。 **OFF**：接続先 FTP サーバが認証を必要としない場合は、 “OFF” を選択します。
ユーザーID	接続先 FTP サーバのログイン ID を入力します。 利用可能な文字種：最大 26 文字までの半角英数
パスワード	接続先 FTP サーバのログインパスワードを入力します。 利用可能な文字種：最大 26 文字までの半角英数
接続	FTP 接続モードを指定します。

	アクティブ：アクティブモードで FTP サーバに接続します。 パッシブ：パッシブモードで FTP サーバに接続します。 **＜情報＞** 本機が、ネットワークアドレスポート変換 (NAPT ルータ等) の内側 (LAN 側) にあり、FTP サーバが外側(WAN 側)にある場合には、パッシブモードの利用をお勧めします。
バックアップ経路	FTP サーバのバックアップフォルダ (ディレクトリ) を指定します。(最大 25 文字)
テスト	開始 ボタンで、FTP サーバとの通信テストを実行します。結果はボタンの右側に以下のように表示されます。 正　　常：正常に接続できた場合。 ログイン失敗：ユーザーID またはパスワードが間違っている場合。 時 間 超 過：サーバに接続できず、タイムアウトした場合。

＜注意＞

- バックアップされたファイルを FTP サーバ側で再生するには、遠隔監視ソフトウエア “EMS” の APP バージョン 1.7.7.7 より新しいバージョンの「ツール」メニューから「ファイル再生」を実行してください。
- 本機または EMS2 の自動バックアップ・予約バックアップ機能を使用される場合、想定される使用条件下においてネットワークの転送レートが録画レートを下回らないように十分ご注意ください。特に、複数のネットワーク接続が想定される場合は、録画設定に十分な余裕を持たせるようにしてください。
- 本機に対して EMS の予約バックアップ機能は使用できません、EMS2 をご使用ください。
- インターネットを経由して自動バックアップを実行する場合、途中の通信事情によって安定なバックアップができないことがあります。この機能は回線状態を管理可能な LAN 内での使用を推薦いたします。

3　　ログリストのバックアップ

本機のログリストは、USB 接続された記憶装置にバックアップすることができます。

1. 本機の USB 端子に記憶装置 (USB メモリまたは USB HDD) を接続します。
2. ▶▶ FF/LOG ボタンを押して、ログリストを表示します。
3. BACKUP ボタンを押すと、「ログバックアップ」ウインドウが表示されます。

項目	説明
デバイス	ログリストをバックアップするバックアップ先を ＋ ― ボタンで選択します。
種別	バックアップするログの分類を以下の 5 種類から選択します。 全　　て：全てのログをバックアップします。 シ ス テ ム：システムに関するログをバックアップします。 ネットワーク：ネットワークアクセスに関するログをバックアップします。 イ ベ ン ト：イベント録画に関するログをバックアップします。 V L O S S：ビデオロスに関するログをバックアップします。
期間	バックアップするログの期間を選択します。
動作	開始 ボタンでバックアップを開始します。ボタンの右側に「完了」と表示されたら、バックアップ完了です。

＜注意＞

ログのバックアップ時には USB アイコンの色は変化しません。「動作」欄の「完了」表示を確認後に USB ケーブルを抜くようにしてください。

X　仕様

仕様	4CH	8CH	16CH
映像入力	4ch BNC	8ch BNC	16ch D-SUB
映像出力	HDMI (1920×1080), VGA (1280×1024) コンポジット, SPOT-OUT		
映像圧縮	H.264		
アラーム入力／出力 (リレー)	4/1	8/1	16/1
オペレーティング システム	組込型 LINUX		
システム制御	キーボタン, 赤外線リモコン, マウス		
ライブ表示速度	リアルタイム表示		
最大録画スピード	120fps 720×480 120fps 720×240 120fps 360×240	120fps 720×480 240fps 720×240 240fps 360×240	120fps 720×480 240fps 720×240 480fps 360×240
音声入出力	1/1	1/1	4(1 RCA + 3 D-SUB)/1
機能			
色調調整	チャンネル毎に輝度、コントラスト、彩度、色相調整		
録画モード	マニュアル, 予約, アラーム, モーション		
	チャンネル毎に解像度＆画質調整 プライバシーマスクサポート		
アラーム録画	アラーム前 5 秒～300 秒 / アラーム後 5 秒～300 秒		
モーション検出	チャンネル毎に 8×8 グリッド		
検索モード	日時, カメラ, アラーム／モーション／ビデオロス, モーションエリア		
再生モード	正逆, 一時停止, コマ送り, 通常速度, 2×, 4×, 8×, 16×		
マルチタスク	ライブ表示, 再生, 録画／バックアップ, 遠隔送信同時		
ウォッチドッグ	停電復旧, 以前の録画設定を維持して自動再起動		
電子透かし	有		
バックアップ	USB フラッシュメモリー, 外付け HDD, クライアント S/W, Web サーバ		
インターフェース	RS422/485, イーサネット(10/100Base-T), USB 2.0		
HDD	1 内臓 HDD(オプションブラケットで最大 2 HDD)		
電源	12V 3A アダプター		
ネットワーク	LAN, WAN, インターネット (最大 3 ユーザー)		
遠隔	クライアントソフトウエア(EMS) Internet Explorer(Web サーバ) スマートフォンアプリ		

XI 付録

1 故障かな？と思ったら

本機の正常な動作で、故障と勘違いしやすい現象を以下にまとめています。以下の表をご覧いただき問題が解決できない場合には、お買い求めの販売店または弊社にお問い合わせください。

現象	考えられる原因	対処法
電源が切れない	本機は電源を切る事は出来ません。	本機には、電源ボタンがありますが、これは本機を、電源コードを抜いても良い状態にするためのものです。「電源アダプターを DVR から外してください」が表示されたら電源プラグをコンセントから抜くか AC アダプターの DC プラグを DVR から抜いてください。
時刻同期サーバの設定をしても時刻同期出来ない	ネットワーク関連の設定は正しく設定されていますか？	時刻同期機能はネットワーク接続（公開 NTP を使用する場合はインターネット）が正しく設定されていないと利用できません。ネットワーク設定をご確認ください。
電子メール通知機能を設定したが電子メールが送信されない。	ネットワーク関連の設定は正しく設定されていますか？	電子メール通知機能はインターネット接続が正しく設定されていないと利用できません。ネットワーク設定をご確認ください。
モーション録画が出来ない	モーション録画をするには「カメラ」設定と「録画」設定の両方を設定しましたか？	モーション録画をするにはそれぞれのチャンネルについて以下の設定をする必要があります。 1. 「カメラ」設定で「エリア設定」を設定する。 2. 「録画」設定の デイイベント 及び／または ナイトイベント タブで、モーション検出チャンネルと録画チャンネルを対応付けする。 3. 「録画」設定の デイ 及び／または ナイト タブで「イベント」列の録画設定をする。
バックアップが出来ない	• バックアップ先メディアがフォーマットされていますか？ • バックアップ先メディアに十分な空き容量がありますか	メディアをフォーマットしてください。参照→51 ページ ＜注意＞ フォーマットすると、そのメディアの全てのデータが失われます。大切なデータは必ず他のメディアにコピーしてください。
	バックアップする日時の範囲は適切ですか？	バックアップする日時の範囲を正しく設定してください。
日時設定（時計合わせ）が出来ない。	録画中ではありませんか？	本機は録画中に日時設定をすることは出来ません。一旦録画を停止してから日時を修正後に録画を再開してください。 ＜注意＞ 日時を修正することによって、録画されたデータに日時の重複が発生してしまった場合、重複した範囲は正常に再生出来なくなります。

特定のカメラのライブ映像が映らない	「システム」メニューの ユーザー設定 タブ内で視聴可能なチャンネルを制限していませんか？	管理者またはそのチャンネルの視聴権限のあるユーザーでログインしてください。 **＜注意＞** ログアウトした状態では全てのユーザーに共通に許可されているチャンネルだけを見る事ができます。

輸入販売元

有限会社 インターラック

〒880-0951 宮崎県宮崎市大塚町窪田 3365-8

TEL: 0985-55-0752

FAX: 0985-55-0815

http://www.interluck.co.jp